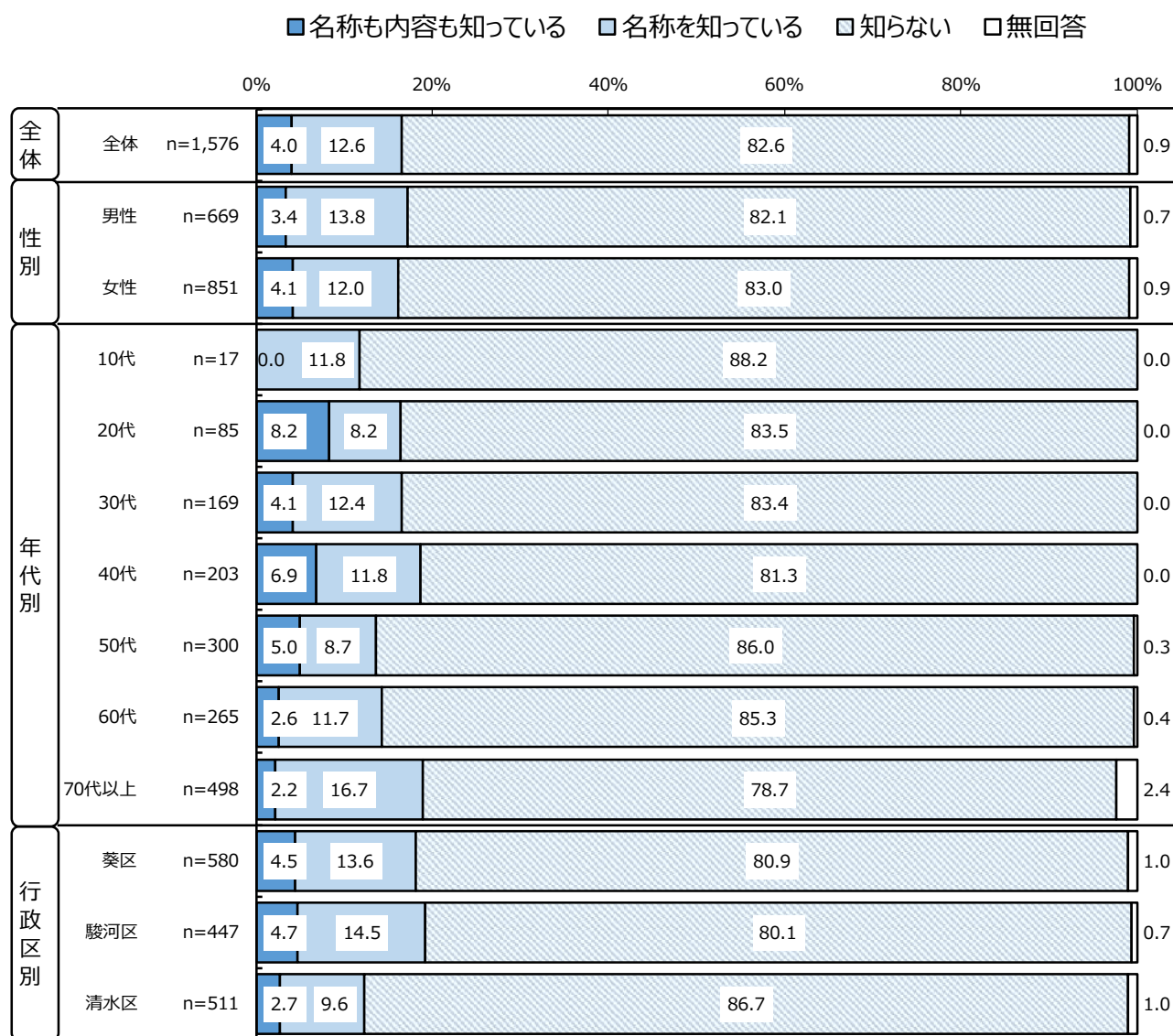


1. 市民満足度調査

問1 静岡市が推進している「まちは劇場」を知っていますか。
(〇は1つ)

静岡市が推進している「まちは劇場」の認知度については、「知らない」が82.6%と最も多く、次いで「名称を知っている」12.6%、「名称も内容も知っている」4.0%となっています。

また、『知っている』（「名称も内容も知っている」＋「名称を知っている」）は16.6%となっています。



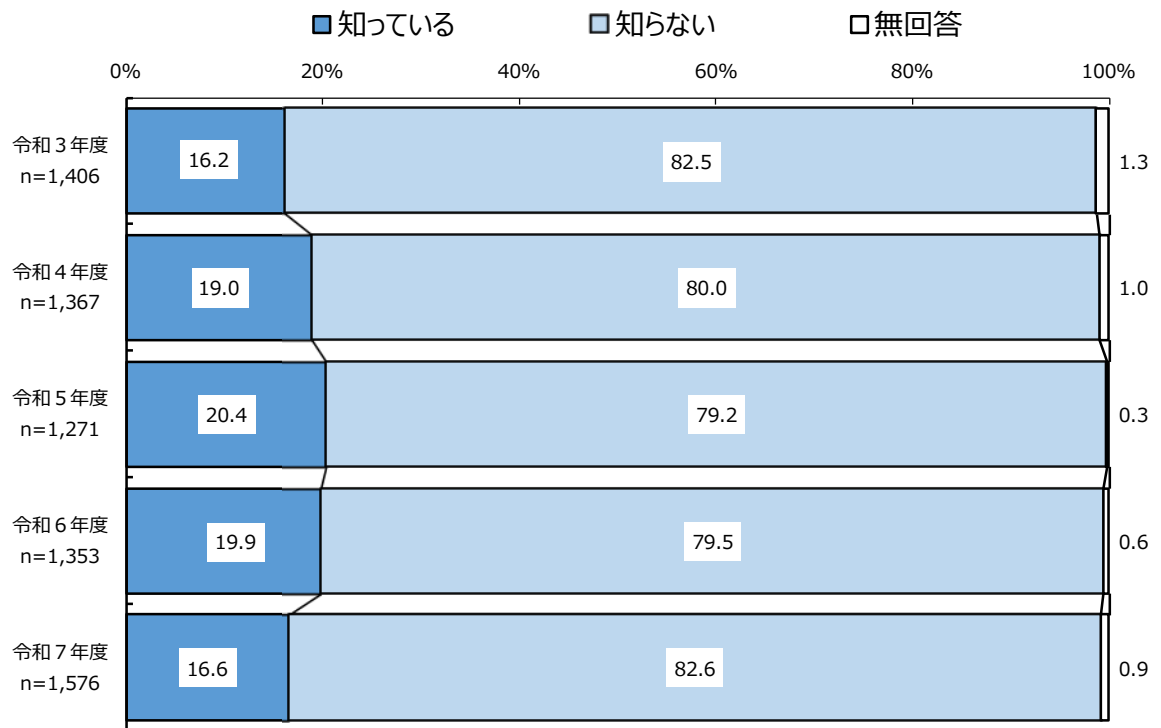
性別でみると、『知っている』は男性17.2%、女性16.1%となっています。「知らない」は男性82.1%、女性83.0%となっています。

年代別でみると、『知っている』は70代以上18.9%、40代18.7%、30代16.5%の順になっています。「知らない」は10代88.2%、50代86.0%、60代85.3%の順になっています。

行政区別でみると、『知っている』は駿河区19.2%、葵区18.1%、清水区12.3%の順になっており、清水区の認知度は他区に比べて低い傾向にあります。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市が推進している「まちは劇場」の認知度については、「知っている」は令和7年度 16.6%となりました。令和6年度 19.9%と比較し 3.3 ポイント減少していますが、令和3年度との比較では 0.4 ポイント増加しています。

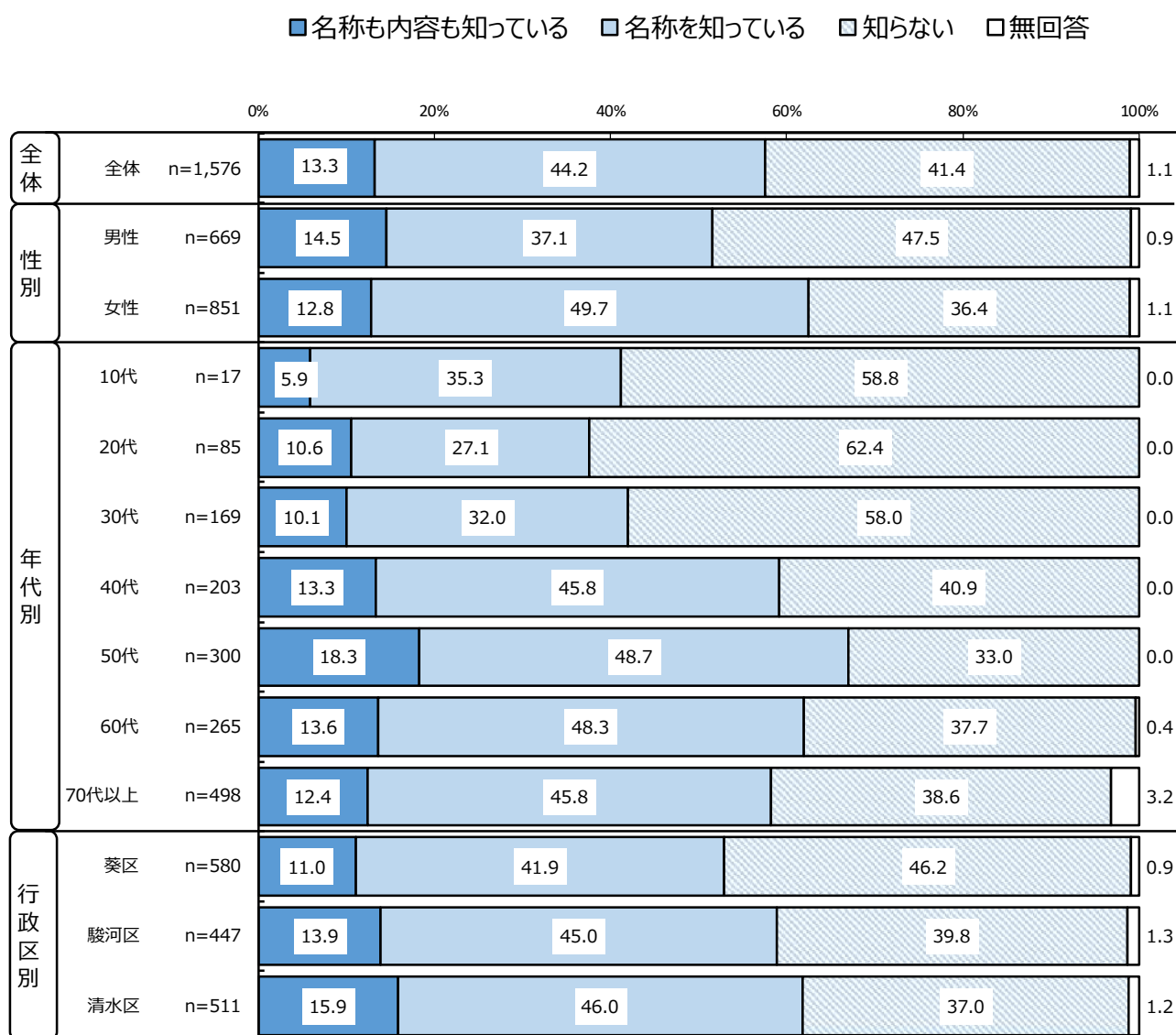


※令和3年度、4年度の選択肢は「1 知っている」「2 知らない」であり、令和5年度、6年度および7年度の選択肢は「1 名称も内容も知っている」「2 名称を知っている」「3 知らない」であるため、令和5年度、6年度および7年度の「1 名称も内容も知っている」「2 名称を知っている」を合算して「1 知っている」として集計しています。

問2 静岡市が推進している「しずまえ」を知っていますか。
(○は1つ)

静岡市が推進している「しずまえ」の認知度については、「名称を知っている」が44.2%と最も多く、次いで「知らない」41.4%、「名称も内容も知っている」13.3%となっています。

また、『知っている』（「名称も内容も知っている」＋「名称を知っている」）は57.5%となっています。



性別でみると、『知っている』は男性51.6%、女性62.5%となっています。「知らない」は男性47.5%、女性36.4%となっています。

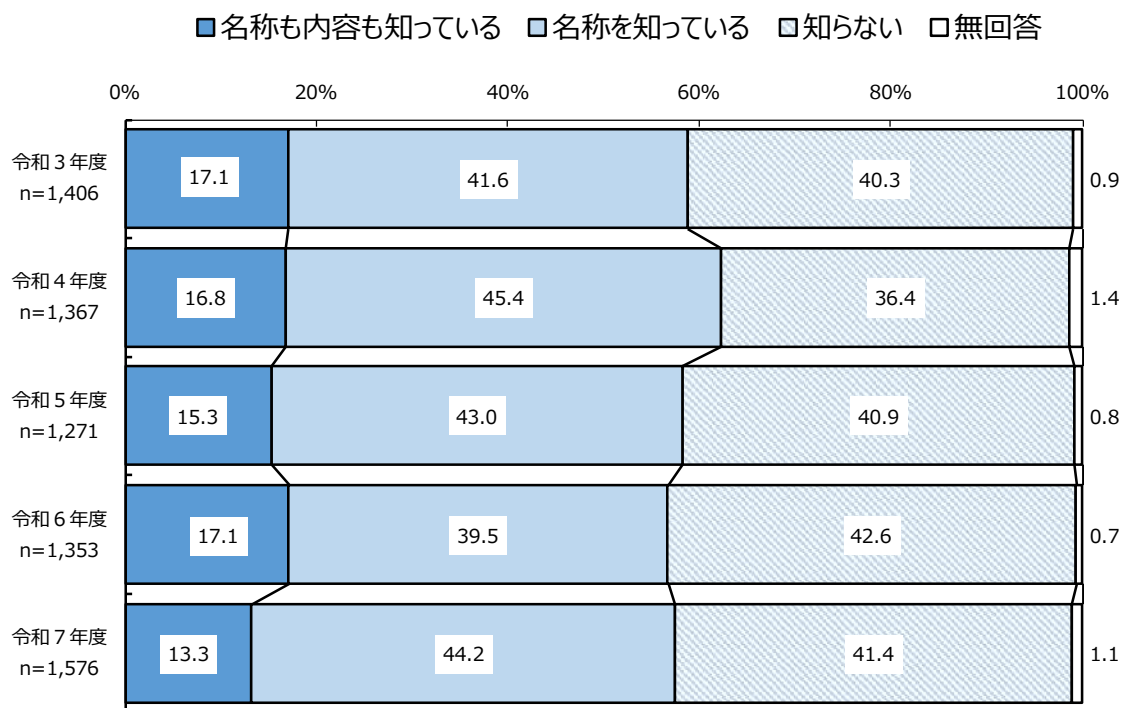
年代別でみると、『知っている』は50代67.0%、60代61.9%、40代59.1%の順になっています。「知らない」は20代62.4%、10代58.8%、30代58.0%の順になっており、30代以下における認知度は50%を下回りましたが、40代以上ではいずれも50%を超えています。

行政区別でみると、『知っている』は清水区61.9%、駿河区58.9%、葵区52.9%の順になっており、葵区に比べて、駿河区、清水区での認知度が高くなっています。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市が推進している「しずまえ」の認知度については、「名称も内容も知っている」は令和7年度13.3%となりました。令和3年度および6年度の17.1%から3.8ポイント減少し、令和3年度以降で最も低い割合となりました。

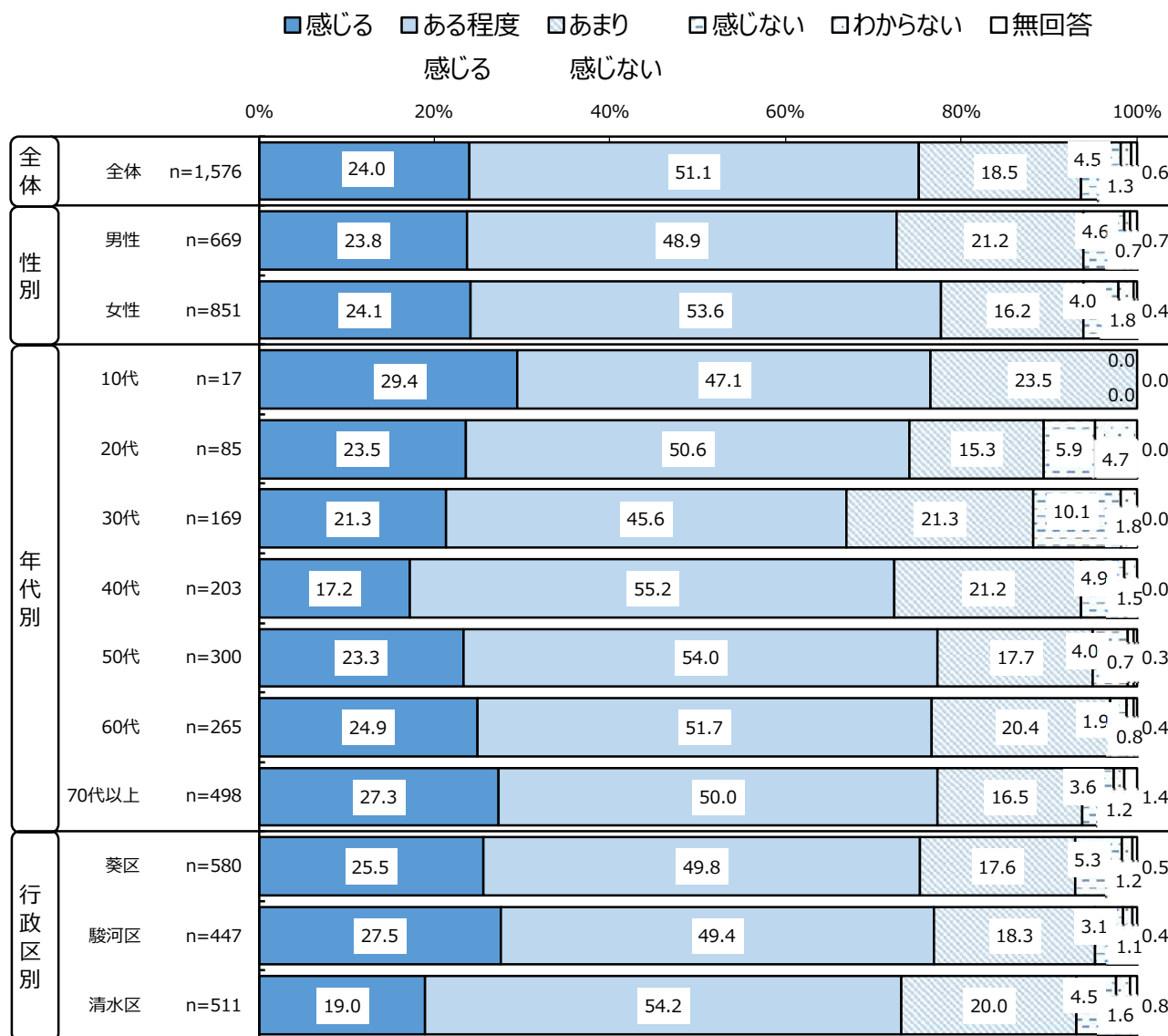
『知っている』（「名称も内容も知っている」＋「名称を知っている」）は、令和7年度57.5%となりました。令和6年度56.6%より0.9ポイント増加し、令和3年度以降最も高い割合である令和4年度62.2%からは4.7ポイント減少しています。



問3 静岡市は徳川氏にゆかりのあるまちであると感じますか。
(○は1つ)

静岡市が徳川氏にゆかりのあるまちであると感じるかについては、「ある程度感じる」が51.1%と最も多く、次いで「感じる」24.0%、「あまり感じない」18.5%となっています。

また、『感じる』(「感じる」+「ある程度感じる」)は75.1%、『感じない』(「あまり感じない」+「感じない」)は23.0%となっています。



性別でみると、『感じる』は男性72.7%、女性77.7%となっています。『感じない』は男性25.8%、女性20.2%となっています。

年代別でみると、『感じる』は50代および70代以上が77.3%、60代76.6%、10代76.5%の順になっています。『感じない』は30代31.4%、40代26.1%、60代22.3%の順になっています。

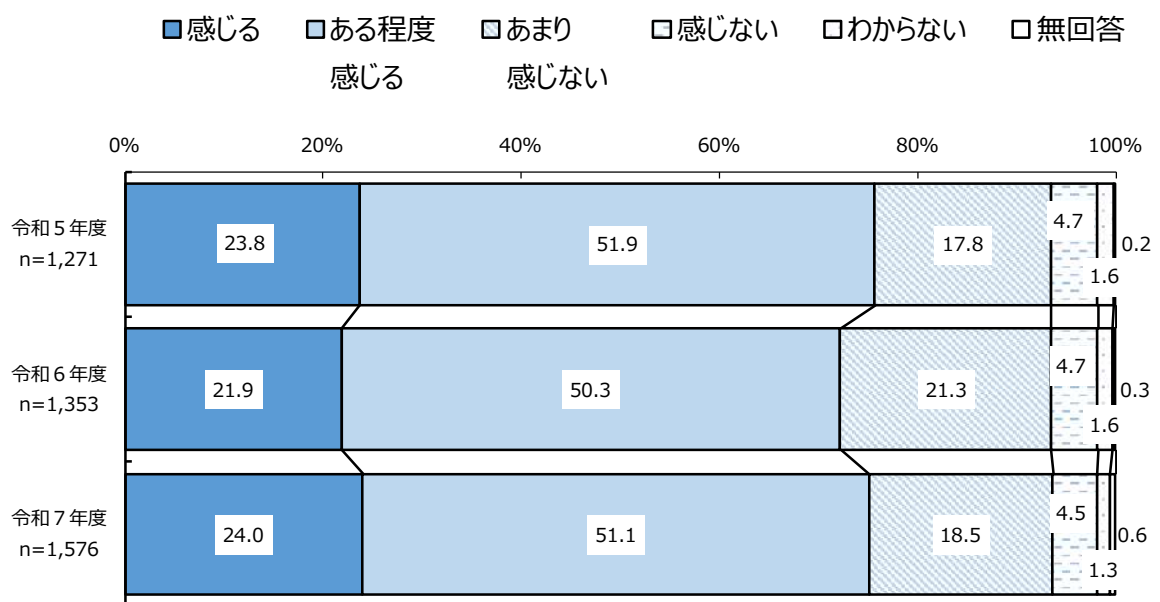
行政区別でみると、『感じる』は駿河区76.9%、葵区75.3%、清水区73.2%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

静岡市は徳川氏にゆかりのあるまちであると感じるかについては、「感じる」は令和7年度24.0%となりました。令和6年度21.9%より2.1ポイント増加し、令和5年度23.8%より0.2ポイント増加しています。

『感じる』（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、令和7年度75.1%となりました。令和6年度72.2%より2.9ポイント増加し、令和5年度75.7%より0.6ポイント減少しています。

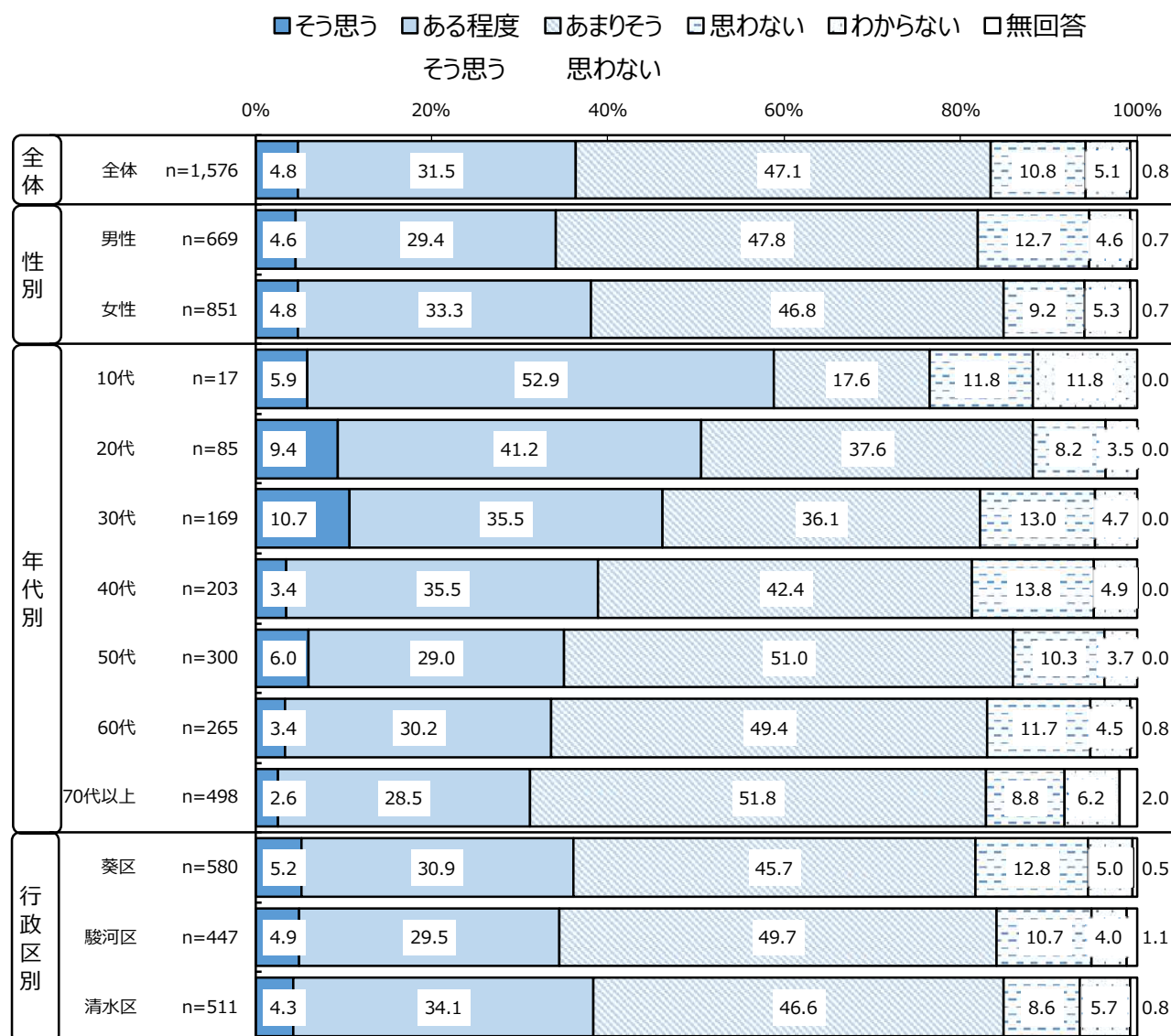
『感じない』（「あまり感じない」＋「感じない」）は、令和7年度23.0%となりました。令和6年度26.0%より3.0ポイント減少し、令和5年度22.5%より0.5ポイント増加しています。



問4 静岡市は身近に文化芸術等が感じられるまちだと思いますか。
(○は1つ)

静岡市は身近に文化芸術等が感じられるまちだと思うかについては、「あまりそう思わない」が47.1%と最も多く、次いで「ある程度そう思う」31.5%、「思わない」10.8%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は36.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は57.9%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性34.0%、女性38.1%となっています。『そう思わない』は男性60.5%、女性が56.0%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は10代58.8%、20代50.6%、30代46.2%の順になっており、若年層ほど、静岡市は身近に文化芸術等が感じられるまちだと思う傾向が高くなっています。『そう思わない』は50代61.3%、60代61.1%、70代以上60.6%の順になっています。

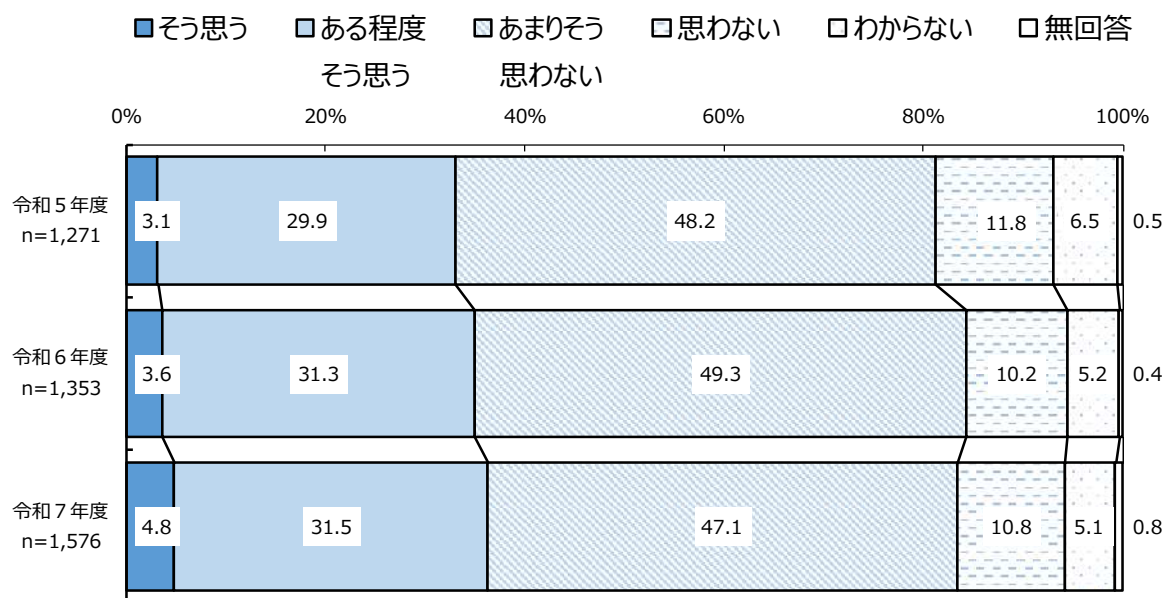
行政区別でみると、『そう思う』は清水区38.4%、葵区36.1%、駿河区34.4%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

静岡市は身近に文化芸術等が感じられるまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度4.8%となりました。令和6年度3.6%より1.2ポイント増加し、令和5年度3.1%より1.7ポイント増加しています。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は令和7年度36.3%となりました。令和6年度34.9%より1.4ポイント増加、令和5年度33.0%より3.3ポイント増加しています。

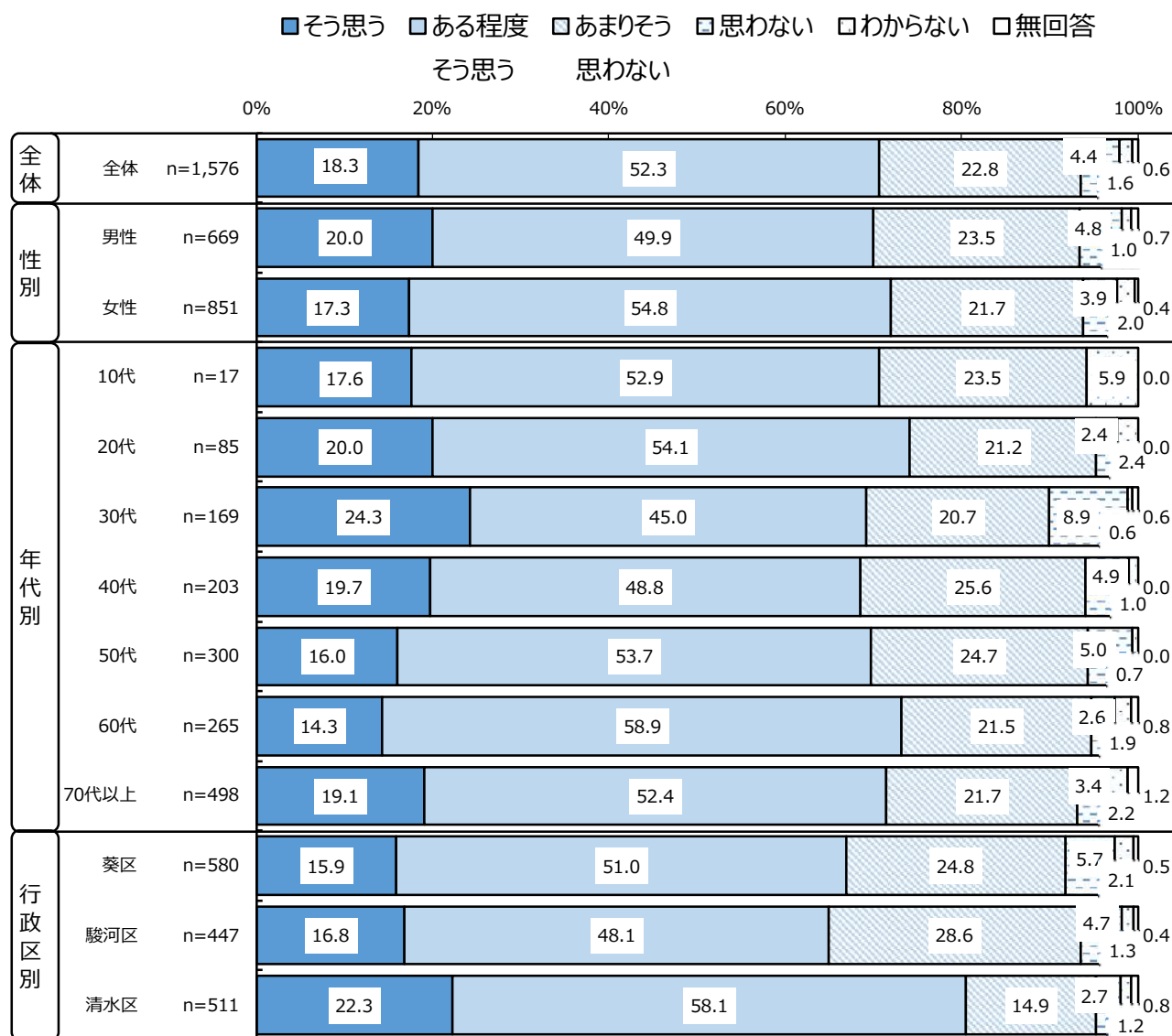
『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は、令和7年度57.9%となりました。令和6年度59.5%より1.6ポイント減少し、令和5年度60.0%より2.1ポイント減少しています。



問5 静岡市はスポーツの盛んなまちだと思いますか。 (〇は1つ)

静岡市はスポーツの盛んなまちだと思うかについては、「ある程度そう思う」が52.3%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」22.8%、「そう思う」18.3%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は70.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は27.2%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性69.9%、女性72.1%となっています。『そう思わない』は男性28.3%、女性25.6%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は20代74.1%、60代73.2%、70代以上71.5%の順になっています。『そう思わない』は40代30.5%、50代29.7%、30代29.6%の順になっています。

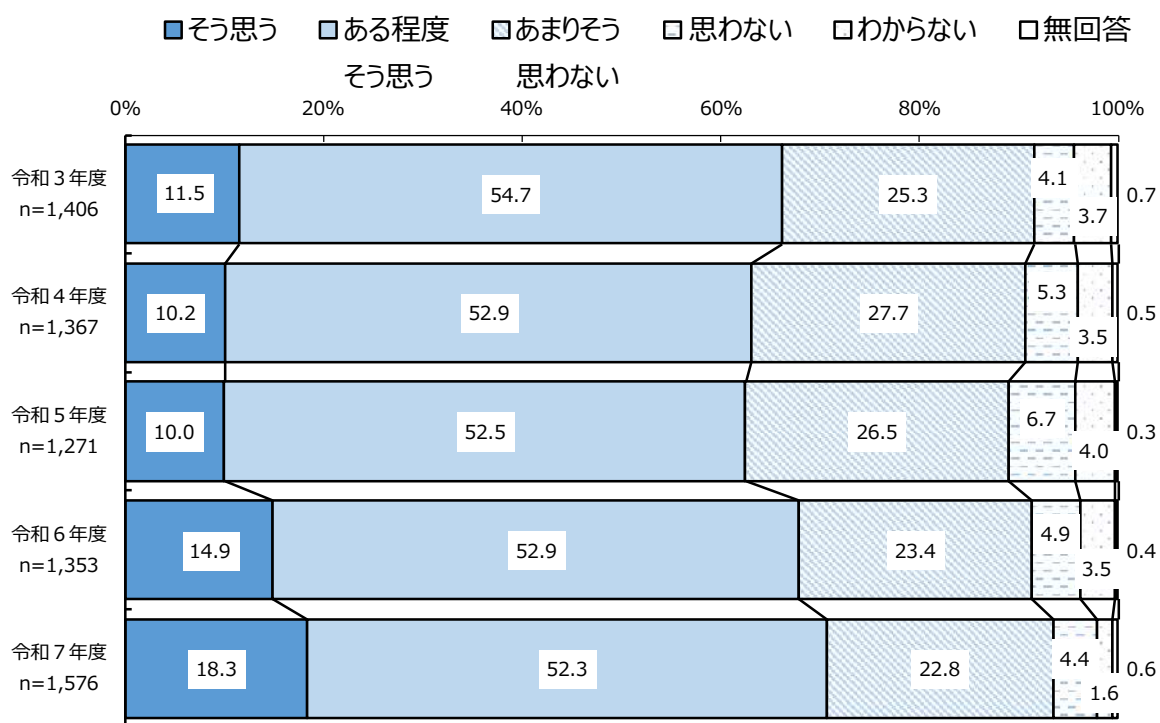
行政区別でみると、『そう思う』は清水区80.4%、葵区66.9%、駿河区64.9%の順になっており、他区に比べて清水区では静岡市はスポーツの盛んなまちだと思う人が多くなっています。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市はスポーツの盛んなまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度 18.3%となりました。令和3年度以降最も高い割合である令和6年度 14.9%より 3.4ポイント増加し、最も低い割合である令和5年度 10.0%からは 8.3ポイント増加しています。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は令和7年度 70.6%となりました。令和3年度以降最も高い割合である令和6年度 67.8%より 2.8ポイント増加し、最も低い割合である令和5年度 62.5%より 8.1ポイント増加しています。

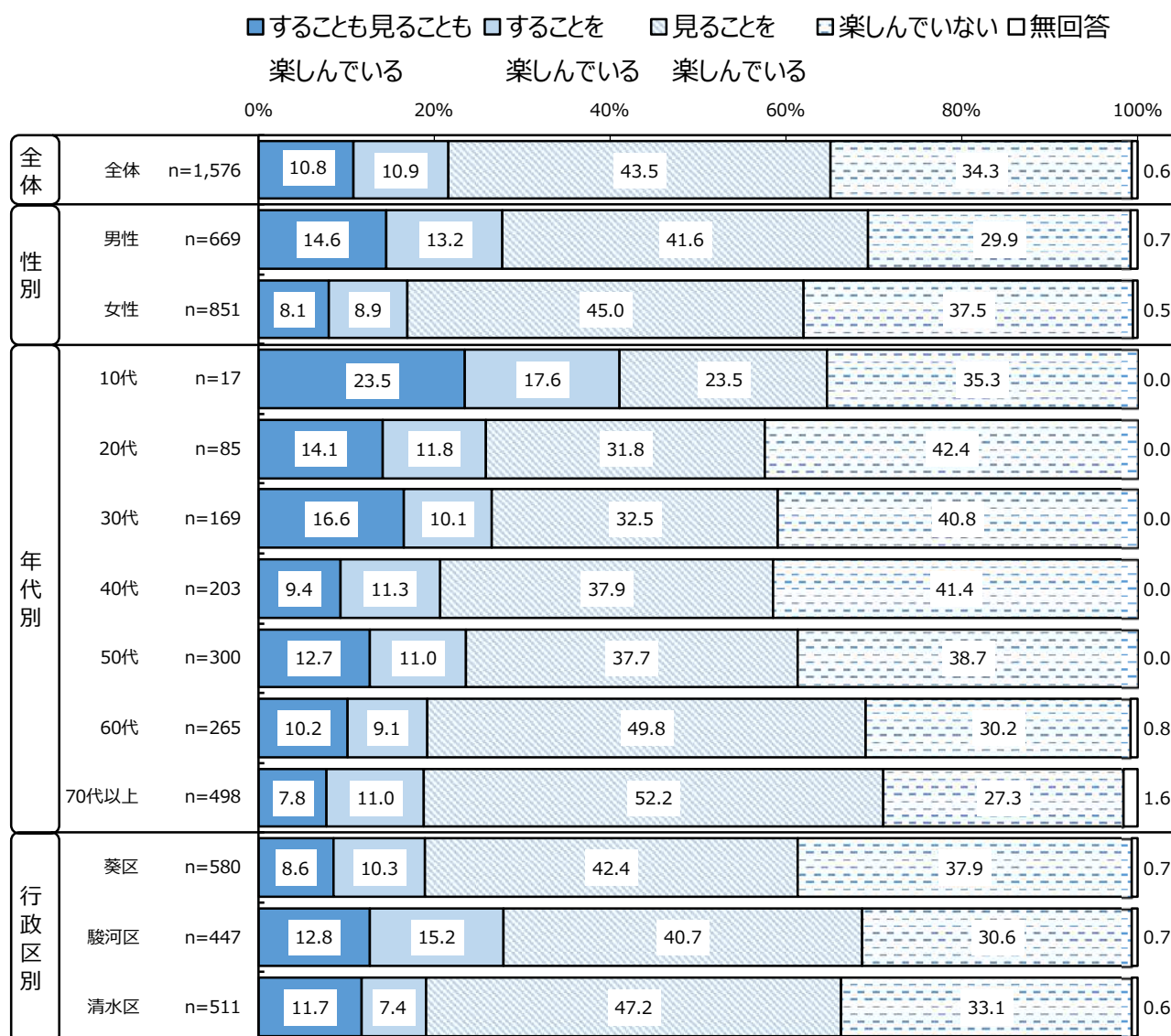
『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は、令和7年度 27.2%となりました。令和3年度以降最も低い割合である令和6年度 28.3%より 1.1ポイント減少しています。



問6 日常的にスポーツを楽しんでいますか。 (○は1つ)

日常的にスポーツを楽しんでいるかについては、「見ることを楽しんでいる」が43.5%と最も多く、次いで「楽しんでいない」34.3%、「することを楽しんでいる」10.9%となっています。

また、『楽しんでいる』（「することも見ることも楽しんでいる」＋「することを楽しんでいる」＋「見ることを楽しんでいる」）は65.2%となっています。



性別でみると、『楽しんでいる』は男性69.4%、女性62.0%となっています。「楽しんでいない」は男性29.9%、女性37.5%で男性の方がスポーツを日常的に楽しむ人が多い傾向にあります。

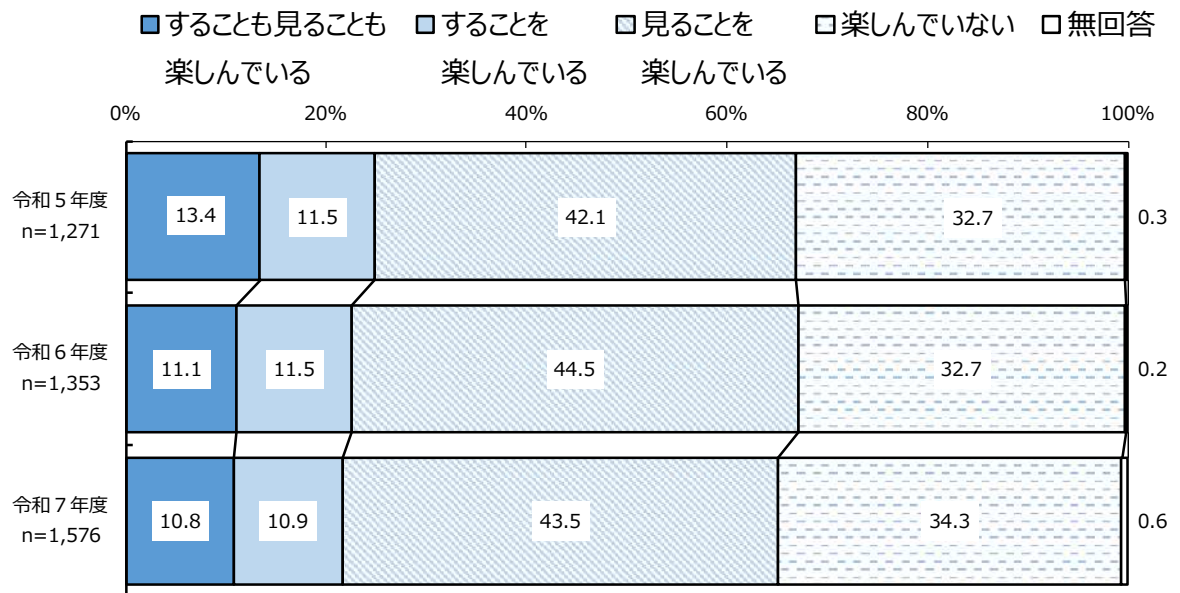
年代別でみると、『楽しんでいる』は70代以上71.0%、60代69.1%、10代64.6%の順になっています。「楽しんでいない」は20代42.4%、40代41.4%、30代40.8%の順になっています。

行政区別でみると、『楽しんでいる』は駿河区68.7%、清水区66.3%、葵区61.3%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

日常的にスポーツを楽しんでいるかについては、「することも見ることも楽しんでいる」は令和7年度10.8%となりました。令和6年度11.1%より0.3ポイント減少し、令和5年度13.4%より2.6ポイント減少しています。「することを楽しんでいる」は令和7年度10.9%となりました。令和5年度および6年度11.5%より0.6ポイント減少しています。「見ることを楽しんでいる」は令和7年度43.5%となりました。令和6年度44.5%より1.0ポイント減少し、令和5年度42.1%から1.4ポイント増加しています。

『楽しんでいる』（「することも見ることも楽しんでいる」＋「することを楽しんでいる」＋「見ることを楽しんでいる」）は、令和7年度65.2%となりました。令和6年度67.1%より1.9ポイント減少し、令和5年度67.0%より1.8ポイント減少しています。

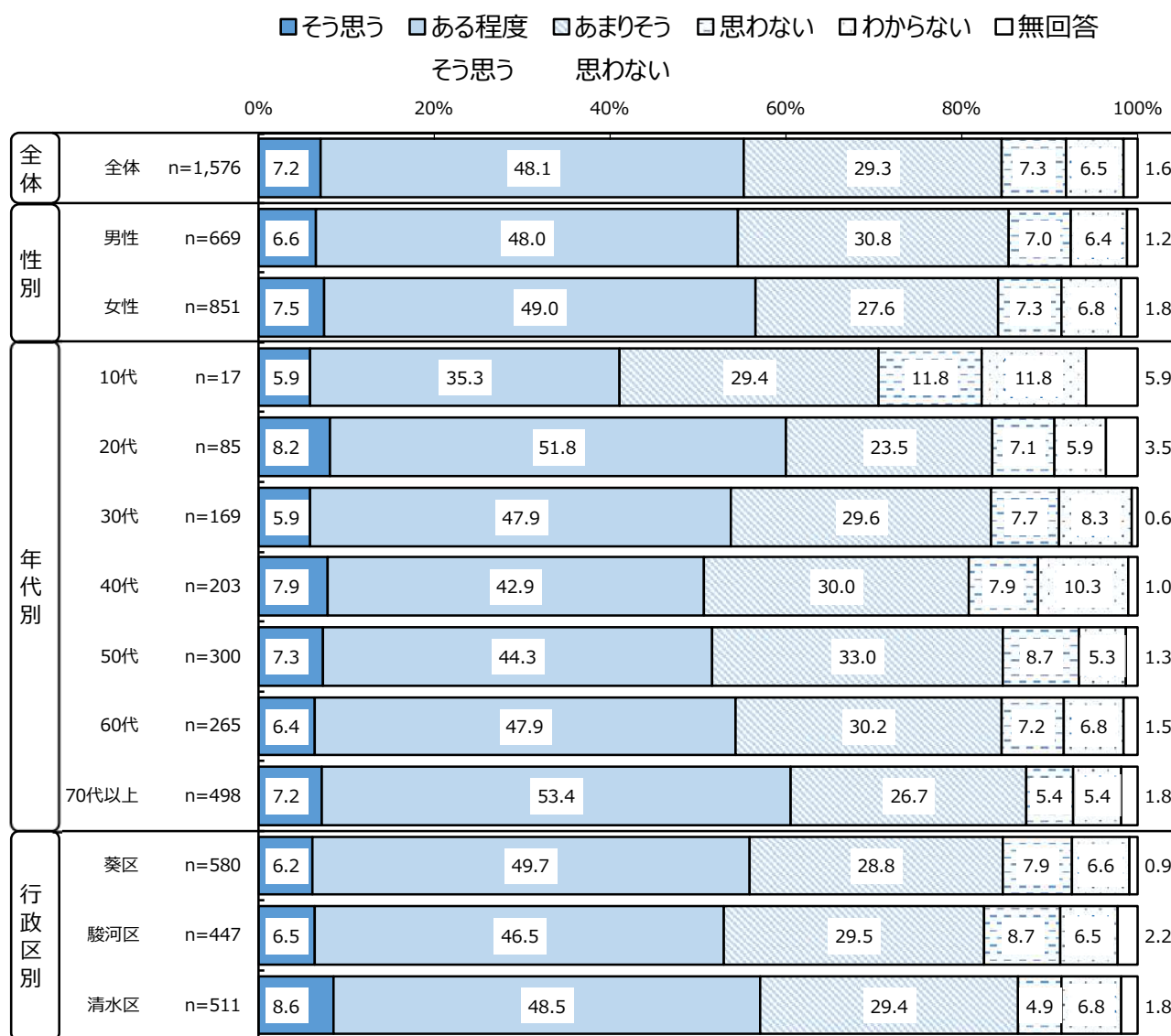


問7 静岡市は、住民が互いに声をかけ合い、助け合う暮らしやすいまちだと思いますか。（〇は1つ）

※困っているときの手助けや、自治会・町内会など住民が主体となった支え合い活動（見守り活動や防災訓練等）の実施など

静岡市は、住民が互いに声をかけ合い、助け合う暮らしやすいまちだと思うかについては、「ある程度そう思う」が48.1%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」29.3%、「思わない」7.3%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は55.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は36.6%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性54.6%、女性56.5%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は70代以上60.6%、20代60.0%、60代54.3%の順になっています。『そう思わない』は50代41.7%、10代41.2%、40代37.9%の順になっています。

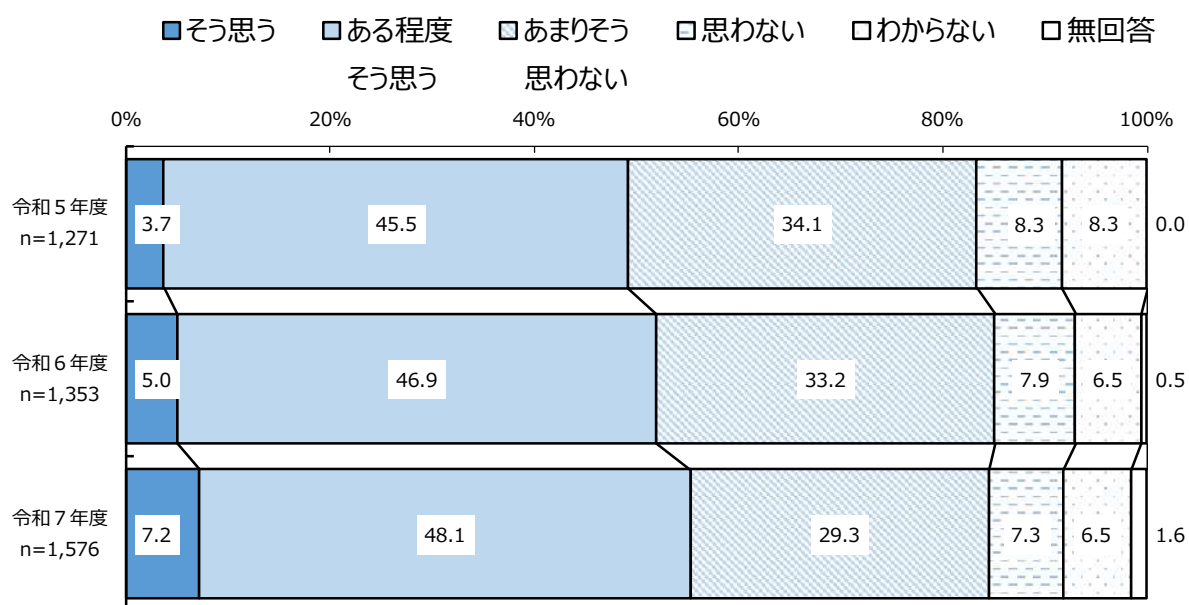
行政区別でみると、『そう思う』は清水区57.1%、葵区55.9%、駿河区53.0%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

静岡市は、住民が互いに声をかけ合い、助け合う暮らしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度7.2%となりました。令和6年度5.0%より2.2ポイント増加し、令和5年度3.7%より3.5ポイント増加しています。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は令和7年度55.3%となりました。令和6年度51.9%より3.4ポイント増加、令和5年度49.2%より6.1ポイント増加し、令和5年度以降で最も高い割合となりました。

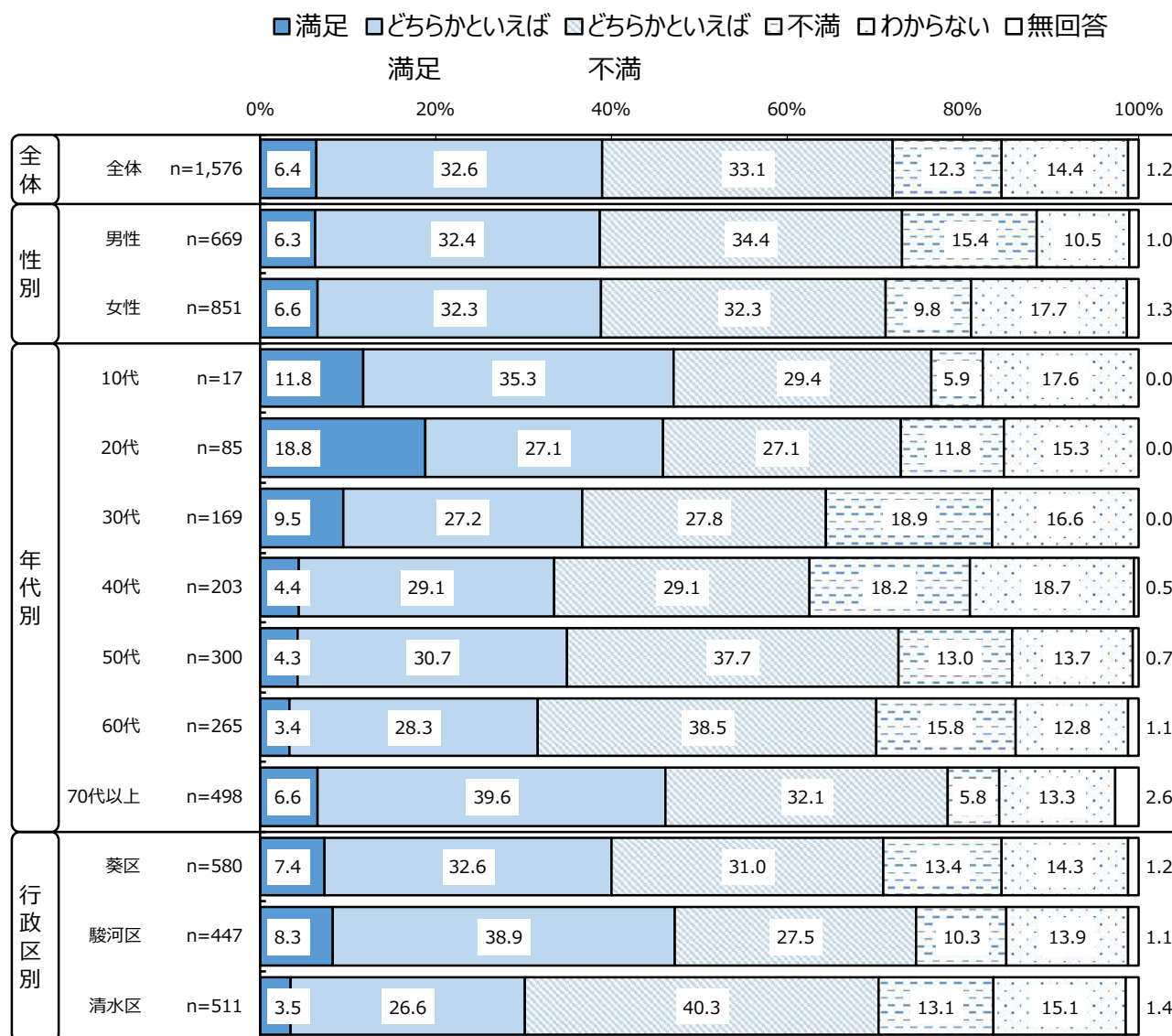
『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は、令和7年度36.6%となりました。令和6年度41.1%より4.5ポイント減少、令和5年度42.4%より5.8ポイント減少し、令和5年度以降で最も低い割合となりました。



問8 静岡市の道路や河川、上下水道などの社会基盤について、現在の整備状況に満足をしていますか。(〇は1つ)

道路や河川、上下水道などの社会基盤について、現在の整備状況に満足をしているかについては、「どちらかといえば不満」が33.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」32.6%、「わからない」14.4%などとなっています。

また、『満足』（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は39.0%、『不満』（「どちらかといえば不満」＋「不満」）は45.4%となっています。



性別でみると、『満足』は男性38.7%、女性38.9%となっています。『不満』は男性49.8%、女性42.1%となっています。

年代別でみると、『満足』は10代47.1%、70代以上46.2%、20代45.9%の順になっています。『不満』は60代54.3%、50代50.7%、40代47.3%の順になっています。

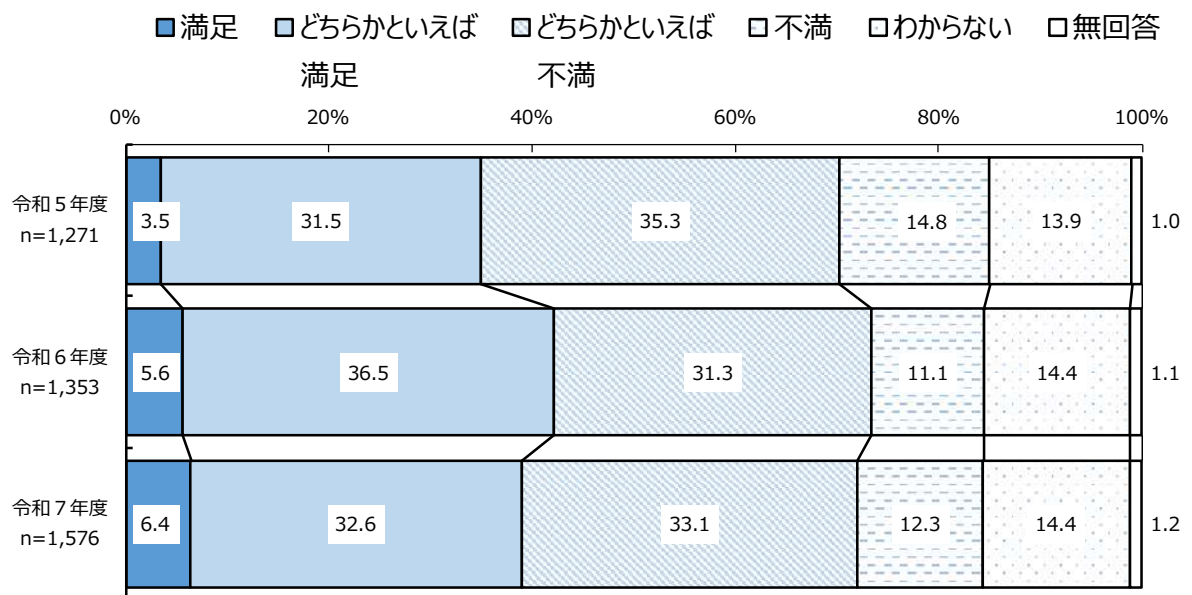
行政区別でみると、『満足』は駿河区47.2%、葵区40.0%、清水区30.1%の順になっており、他の地区に比べて清水区の満足度が低い傾向にあります。

令和5年度～7年度の経年比較

道路や河川、上下水道などの社会基盤について、「満足」は令和7年度6.4%となりました。令和6年度5.6%より0.8ポイント増加、令和5年度3.5%より2.9ポイント増加し、令和5年度以降で最も高い割合となりました。

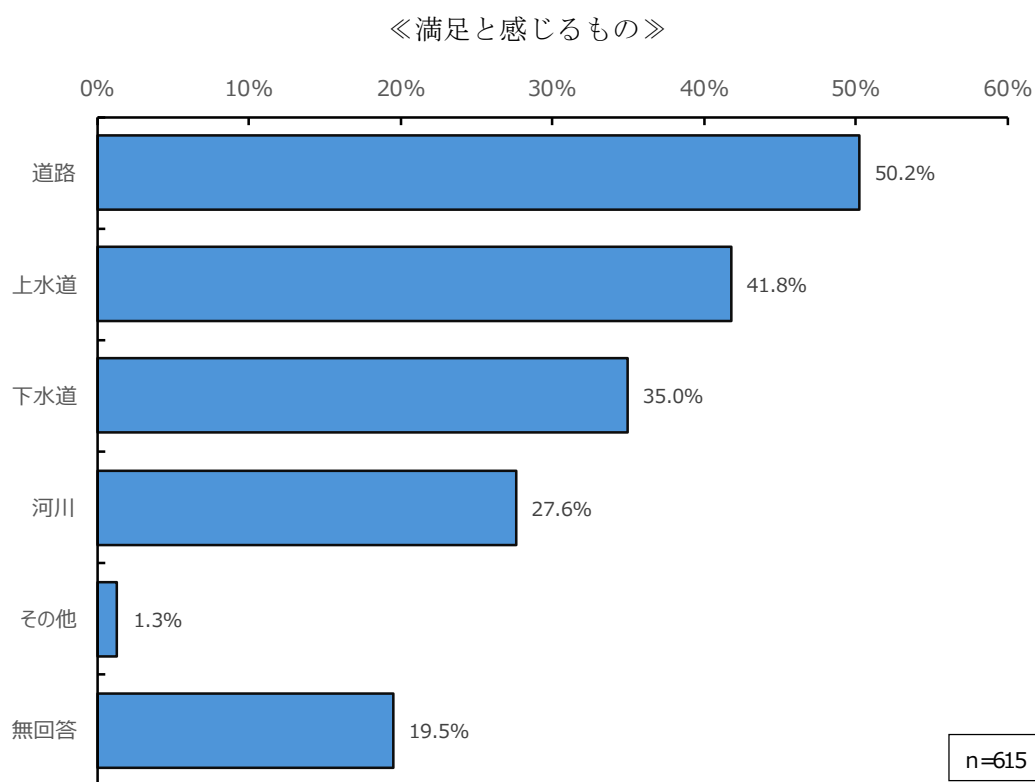
『満足』（「満足」＋「どちらかといえば満足」）は、令和7年度39.0%となりました。令和6年度42.1%から3.1ポイント減少し、令和5年度35.0%より4.0ポイント増加しています。

『不満』（「どちらかといえば不満」＋「不満」）は、令和7年度45.4%となりました。令和6年度42.4%より3.0ポイント増加し、令和5年度50.1%から4.7ポイント減少しました。



問8－① 問8において、満足（又は不満）とを感じるものは何ですか。
（〇はいくつでも）

満足とを感じるものについては「道路」が50.2%と最も多く、次いで「上水道」41.8%、「下水道」35.0%、「河川」27.6%などとなっています。



調査結果【1. 市民満足度調査】

単位：(%)

		調査数 (人)	道路	上水道	下水道	河川	その他	無回答
全体		615	50.2	41.8	35.0	27.6	1.3	19.5
性別	男性	259	44.8	48.3	39.0	30.5	1.9	17.0
	女性	331	54.7	37.8	31.7	26.0	0.9	21.5
年代別	10代	8	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	20代	39	79.5	41.0	30.8	41.0	2.6	5.1
	30代	62	61.3	50.0	41.9	43.5	1.6	4.8
	40代	68	54.4	35.3	25.0	25.0	0.0	17.6
	50代	105	51.4	41.9	39.0	28.6	0.0	18.1
	60代	84	44.0	41.7	36.9	27.4	1.2	20.2
	70代以上	230	42.2	44.3	35.7	22.6	2.2	27.0
行政区別	葵区	232	48.7	41.4	36.6	31.0	0.9	18.5
	駿河区	211	48.8	46.0	37.4	26.5	1.9	19.9
	清水区	154	55.2	38.3	29.2	25.3	1.3	20.1

性別でみると、男性と女性では順位が異なり、男性は「上水道」48.3%、「道路」44.8%、「下水道」39.0%となっています。女性は「道路」54.7%、「上水道」37.8%、「下水道」31.7%となっています。

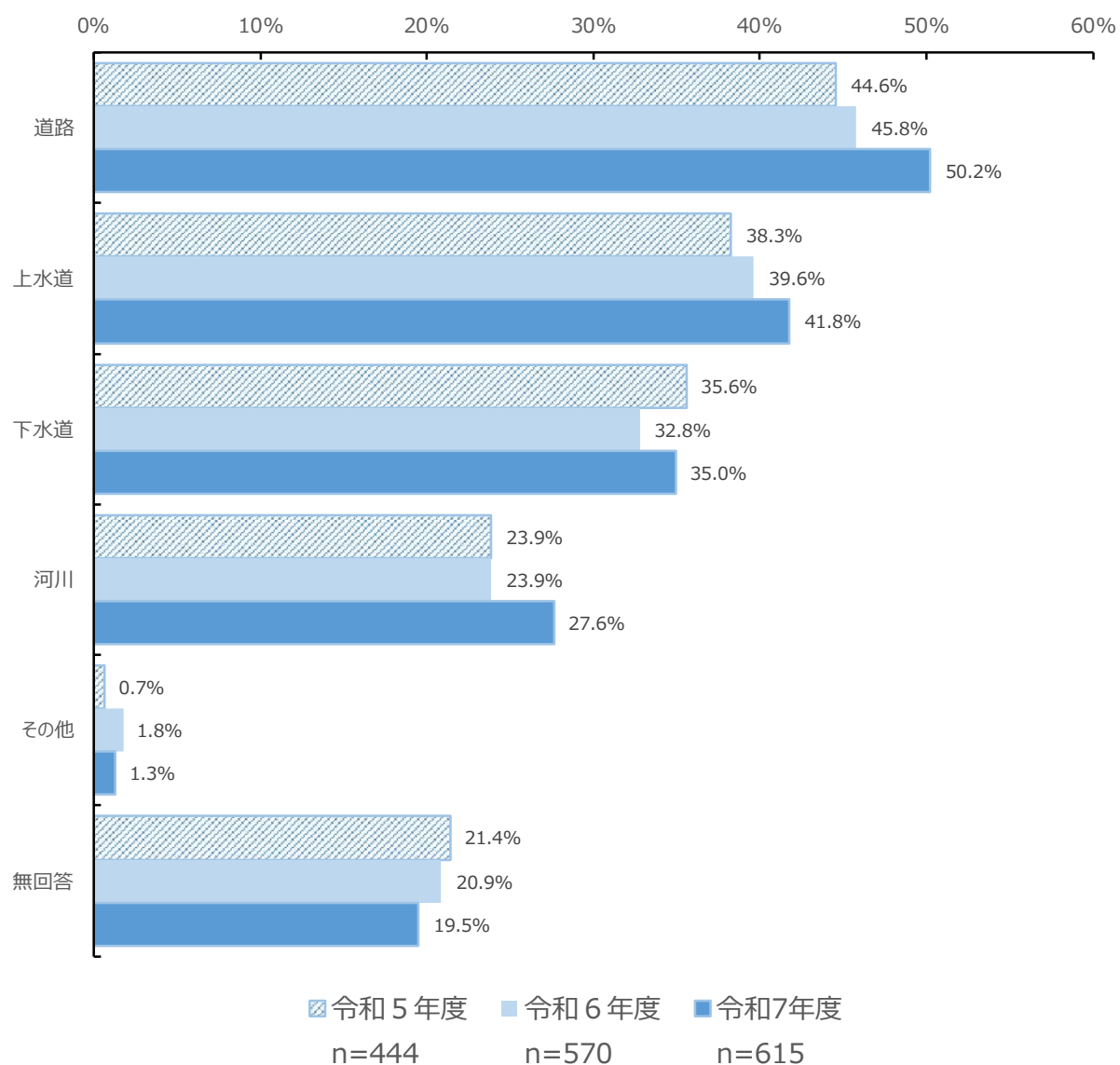
年代別でみると、「道路」は10代87.5%、20代79.5%、30代61.3%の順になっています。「上水道」は30代50.0%、70代以上44.3%、50代41.9%の順になっています。「下水道」は30代41.9%、50代39.0%、60代36.9%の順になっています。

行政区別でみると、「道路」は清水区55.2%、駿河区48.8%、葵区48.7%の順になっています。「上水道」は駿河区46.0%、葵区41.4%、清水区38.3%の順になっています。「下水道」は駿河区37.4%、葵区36.6%、清水区29.2%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

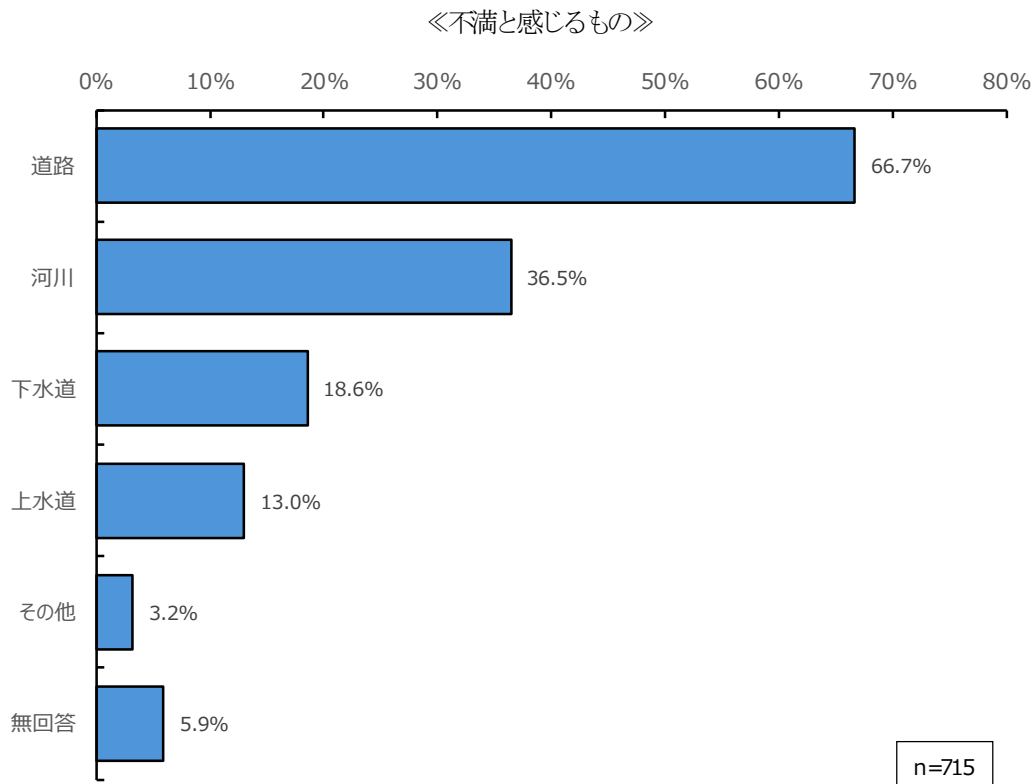
道路や河川、上下水道などの社会基盤について、現在の整備状況に『満足』（「満足」＋「どちらかと いえば満足」）と回答した方が満足とを感じるものについては、令和7年度と令和6年度を比較し、「その他」「無回答」を除くすべての項目で増加しました。

令和5年度との比較では、「下水道」に限り、令和7年度 35.0%、令和5年度 35.6%で0.6ポイント減少しています。



問8－① 問8において、満足（又は不満）とを感じるものは何ですか。
（〇はいくつでも）

不満とを感じるものについては「道路」が66.7%と最も多く、次いで「河川」36.5%、「下水道」18.6%、「上水道」13.0%などとなっています。



令和7年度 静岡市市民意識調査 調査結果報告書

単位：(%)

		調査数 (人)	道路	河川	下水道	上水道	その他	無回答
全体		715	66.7	36.5	18.6	13.0	3.2	5.9
性別	男性	333	66.7	37.2	18.6	12.9	2.7	6.6
	女性	358	67.3	36.9	17.9	13.4	3.4	5.0
年代別	10代	6	66.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0
	20代	33	72.7	24.2	18.2	12.1	12.1	0.0
	30代	79	73.4	43.0	15.2	16.5	3.8	5.1
	40代	96	71.9	38.5	14.6	15.6	3.1	2.1
	50代	152	65.1	36.2	19.7	15.8	3.3	4.6
	60代	144	68.8	35.4	20.8	12.5	2.8	5.6
	70代以上	189	61.4	37.6	16.9	8.5	1.1	10.6
行政区別	葵区	258	71.3	33.7	15.9	10.5	3.1	4.3
	駿河区	169	79.9	23.7	20.1	14.8	4.1	4.7
	清水区	273	55.3	48.4	19.0	14.3	2.2	8.1

性別でみると、「道路」は男性 66.7%、女性 67.3%となっています。「河川」は男性 37.2%、女性 36.9%となっています。「下水道」は男性 18.6%、女性 17.9%となっています。

年代別でみると、「道路」は 30 代 73.4%、20 代 72.7%、40 代 71.9%の順になっています。「河川」は 30 代 43.0%、40 代 38.5%、70 代以上 37.6%の順になっています。「下水道」は 10 代 33.3%、60 代 20.8%、50 代 19.7%の順になっています。

行政区別でみると、「道路」は駿河区 79.9%、葵区 71.3%、清水区 55.3%の順になっています。「河川」は清水区 48.4%、葵区 33.7%、駿河区 23.7%の順になっています。「下水道」は駿河区 20.1%、清水区 19.0%、葵区 15.9%の順になっています。

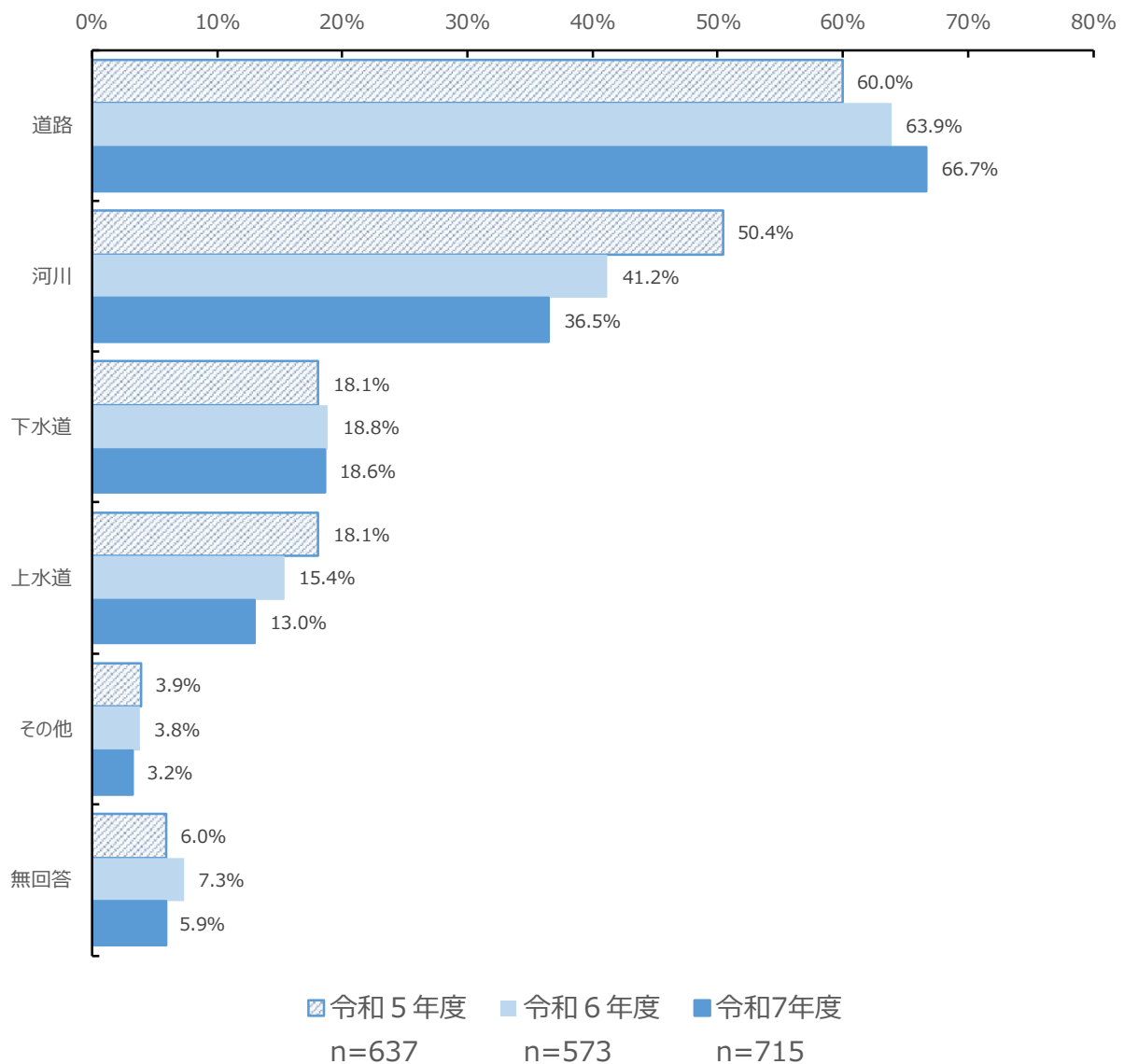
令和5年度～7年度の経年比較

道路や河川、上下水道などの社会基盤について、現在の整備状況に『不満』（「どちらかといえば不満」＋「不満」）と回答した方が不満と感じるものについては、令和7年度と令和6年度を比較し「道路」の1項目で増加しました。「道路」は令和7年度66.7%となりました。令和6年度63.9%より2.8ポイント増加、令和5年度60.0%より6.7ポイント増加しています。

「河川」は令和7年度36.5%となりました。令和6年度41.2%から4.7ポイント、令和5年度50.4%から13.9ポイント減少しています。

「下水道」は令和7年度18.6%となりました。令和6年度18.8%から0.2ポイント減少し、令和5年度18.1%から0.5ポイント増加しています。

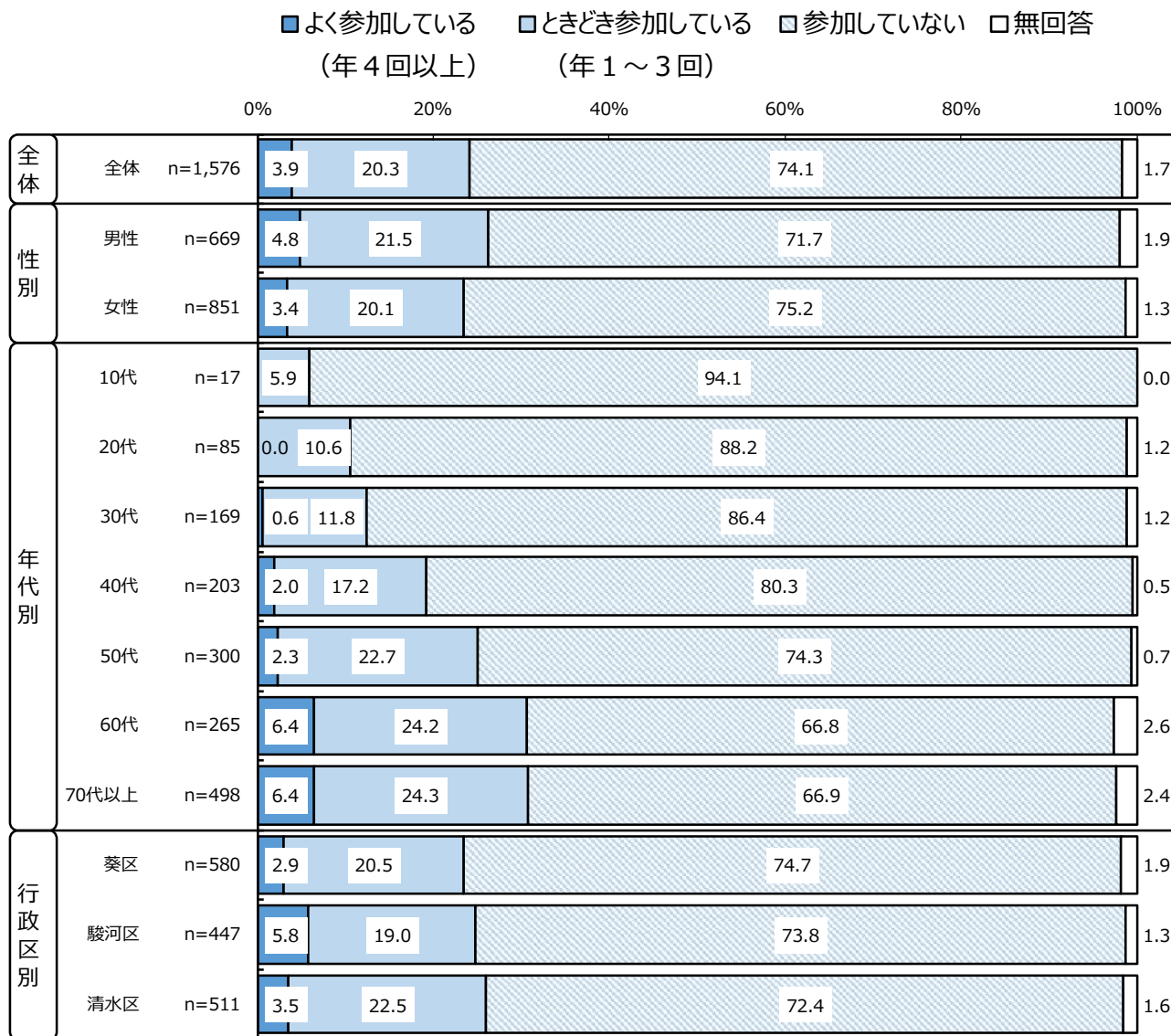
「上水道」は令和7年度13.0%となりました。令和6年度15.4%から2.4ポイント、令和5年度18.1%から5.1ポイント減少しています。



問9 この1年間に環境に関するボランティア活動（清掃活動、環境保護活動など）に参加しましたか。（〇は1つ）

この1年間の環境に関するボランティア活動（清掃活動、環境保護活動など）への参加頻度については、「参加していない」が74.1%と最も多く、次いで「ときどき参加している（年1～3回）」20.3%、「よく参加している（年4回以上）」3.9%となっています。

また、『参加している』（「よく参加している（年4回以上）」+「ときどき参加している（年1～3回）」）は24.2%となっています。



性別でみると、『参加している』は男性26.3%、女性23.5%となっています。

年代別でみると、『参加している』は70代以上30.7%、60代30.6%、50代25.0%の順になっています。「参加していない」は10代94.1%、20代88.2%、30代86.4%の順で、年齢が上がるにつれ参加率は高まる傾向にあります。

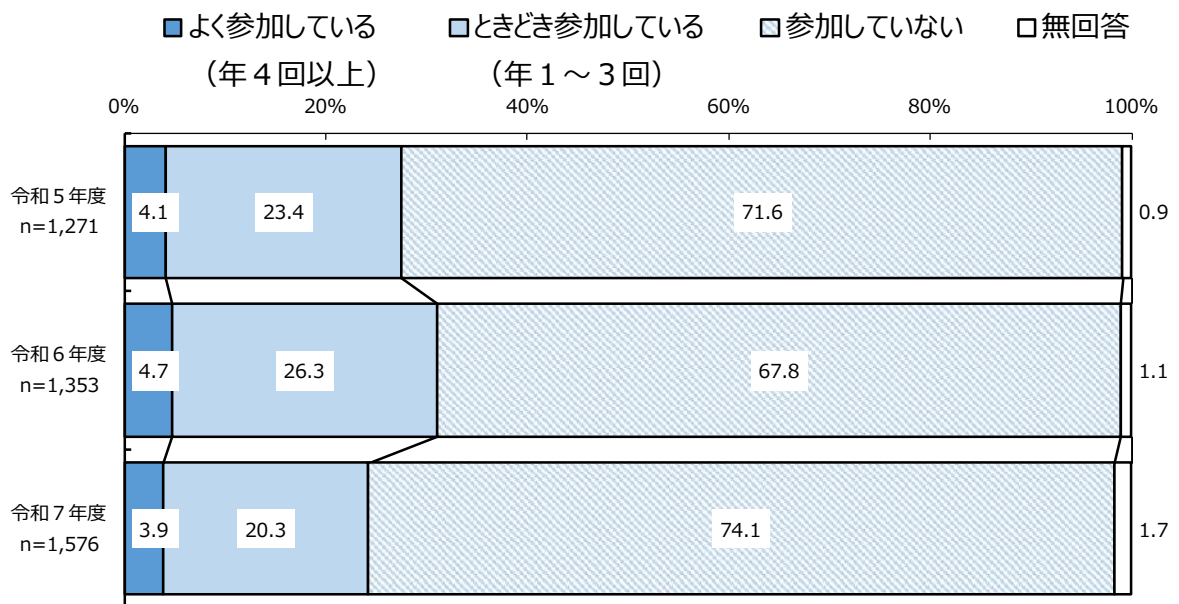
行政区別でみると、『参加している』は清水区26.0%、駿河区24.8%、葵区23.4%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

この1年間の環境に関するボランティア活動（清掃活動、環境保護活動など）への参加頻度については、「よく参加している（年4回以上）」は令和7年度3.9%となりました。令和6年度4.7%より0.8ポイント減少し、令和5年度4.1%より0.2ポイント減少しています。

『参加している』（「よく参加している（年4回以上）」＋「ときどき参加している（年1～3回）」）は、令和7年度24.2%となりました。令和6年度31.0%より6.8ポイント減少し、令和5年度27.5%より3.3ポイント減少しています。

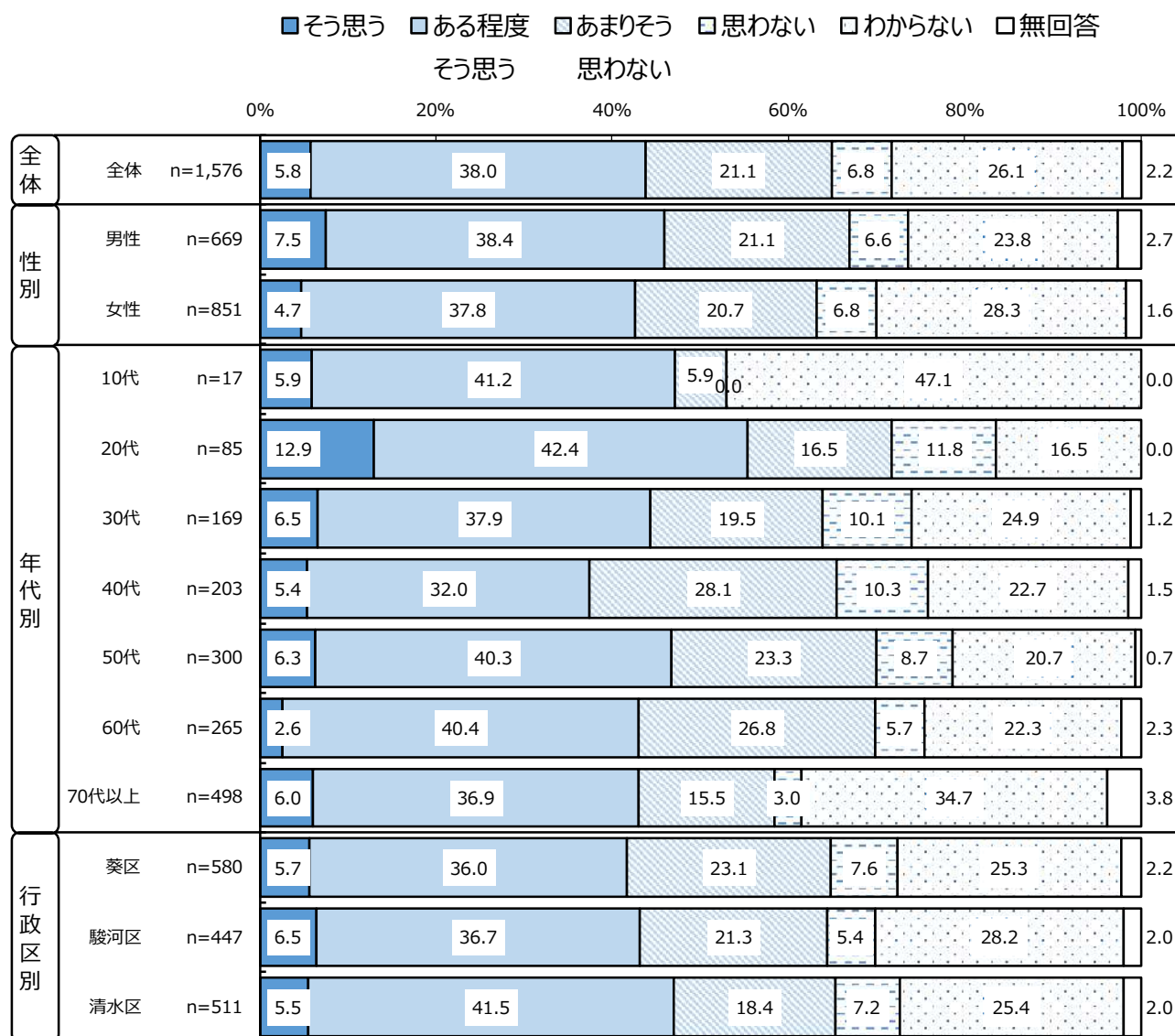
「参加していない」は令和7年度74.1%となりました。令和6年度67.8%より6.3ポイント増加し、令和5年71.6%より2.5ポイント増加しています。



問10 静岡市は働きやすいまちだと思いますか。 (○は1つ)

静岡市は働きやすいまちだと思うかについては、「ある程度そう思う」が38.0%と最も多く、次いで「わからない」26.1%、「あまりそう思わない」21.1%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は43.8%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は27.9%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性45.9%、女性42.5%となっています。『そう思わない』は男性27.7%、女性27.5%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は20代55.3%、10代47.1%、50代46.6%の順になっています。『そう思わない』は40代38.4%、60代32.5%、50代32.0%の順になっています。

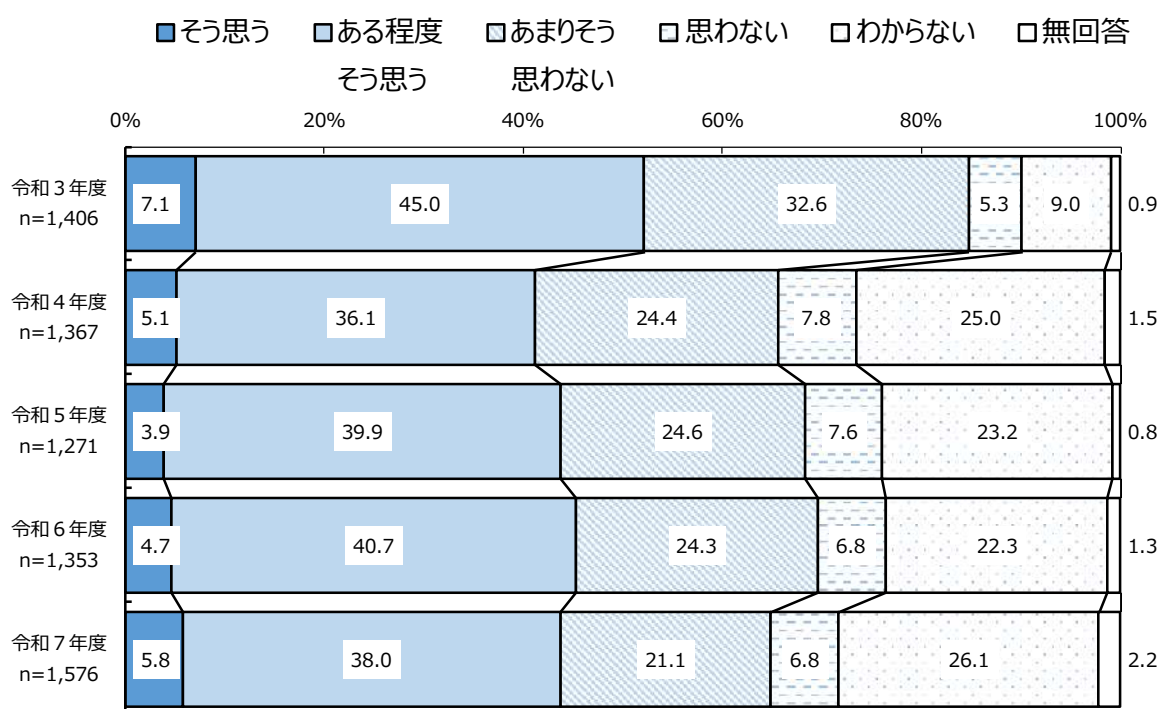
行政区別でみると、『そう思う』は清水区47.0%、駿河区43.2%、葵区41.7%の順になっています。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市は働きやすいまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度5.8%となりました。令和6年度4.7%より1.1ポイント、令和3年度以降最も低い割合である令和5年度3.9%より1.9ポイント増加し、最も高い割合である令和3年度7.1%から1.3ポイント減少しています。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は、令和7年度43.8%となりました。令和6年度45.4%より1.6ポイント減少し、令和3年度以降最も低い割合である令和4年度41.2%より2.6ポイント増加したものの、最も高い割合である令和3年度52.1%から8.3ポイント減少しています。

『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は令和7年度27.9%となりました。令和6年度31.1%より3.2ポイント減少しました。



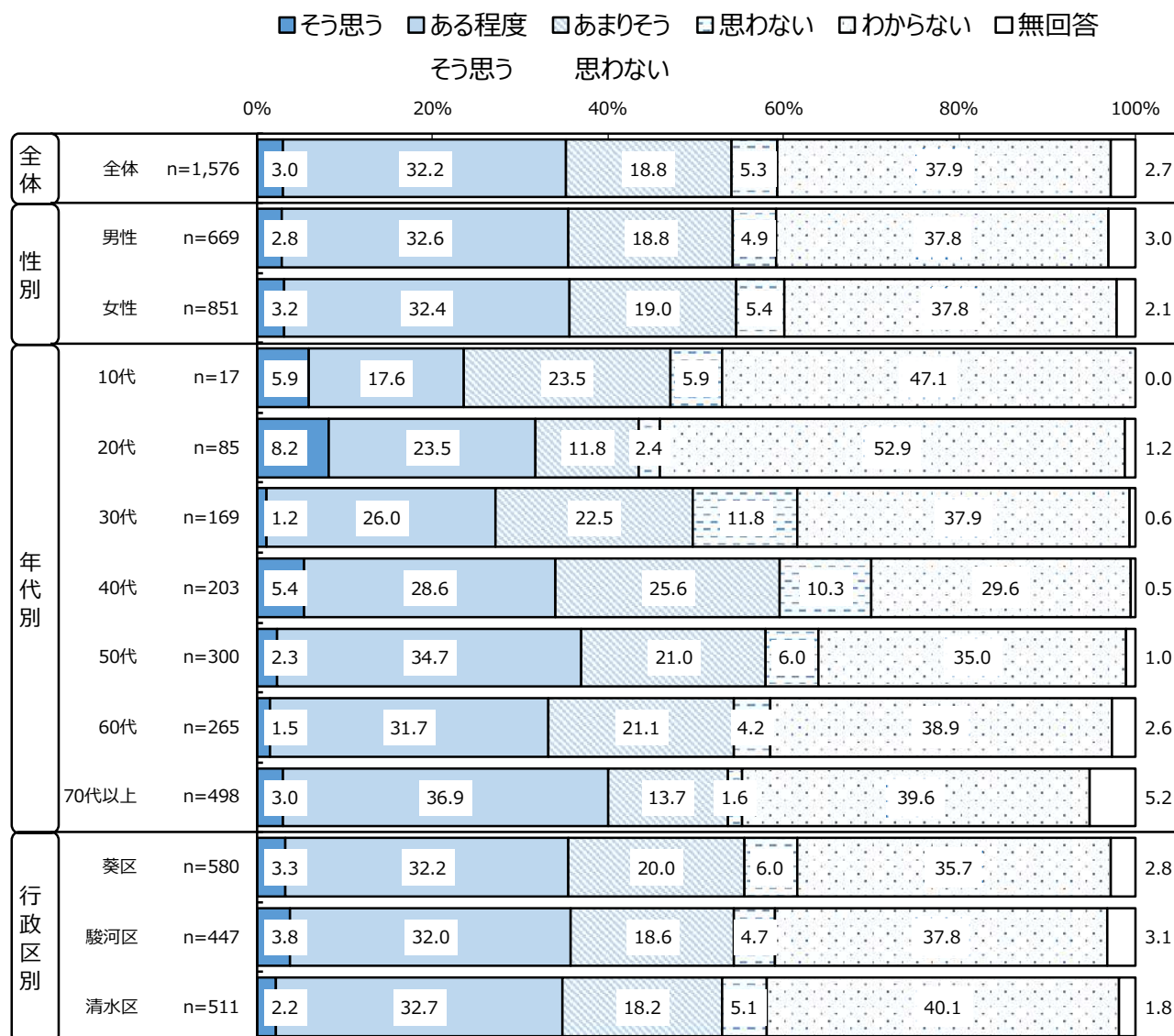
※令和3年度、4年度の選択肢「4ほとんど、そうは思わない」は、令和5年度、6年度の選択肢「4思わない」として表しています。

※令和4年度以降、この設問の回答に対して、「回答された理由」を記述する設問を追加しています。

問11 静岡市は子育てしやすいまちだと思いますか。
(〇は1つ)

静岡市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「わからない」が37.9%と最も多く、次いで「ある程度そう思う」32.2%、「あまりそう思わない」18.8%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は35.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は24.1%となっています。



性別でみると『そう思う』は男性が35.4%、女性が35.6%となっています。『そう思わない』は男性23.7%、女性24.4%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は70代以上39.9%、50代37.0%、40代34.0%の順になっています。『そう思わない』は40代35.9%、30代34.3%、10代29.4%の順になっています。

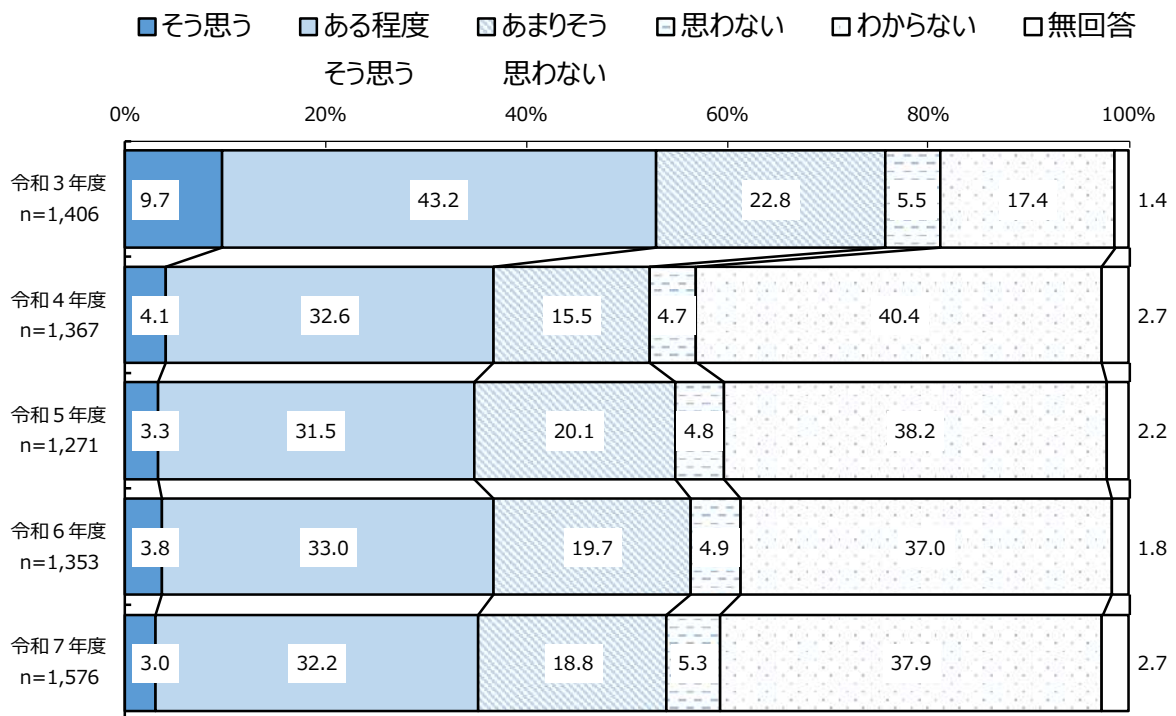
行政区別でみると、『そう思う』は駿河区35.8%、葵区35.5%、清水区34.9%の順になっています。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度3.0%となりました。令和6年度3.8%より0.8ポイント減少しました。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は令和7年度35.2%となりました。令和6年度36.8%より1.6ポイント減少し、令和3年度以降最も低い割合である令和5年度34.8%より0.4ポイント増加しました。

『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は令和7年度24.1%となりました。令和6年度24.6%から0.5ポイント減少し、令和3年度以降最も高い割合である令和3年度28.3%より4.2ポイント減少しました。



※令和3年度、4年度の選択肢「4ほとんど、そうは思わない」は、令和5年度、6年度の選択肢「4思わない」として表しています。

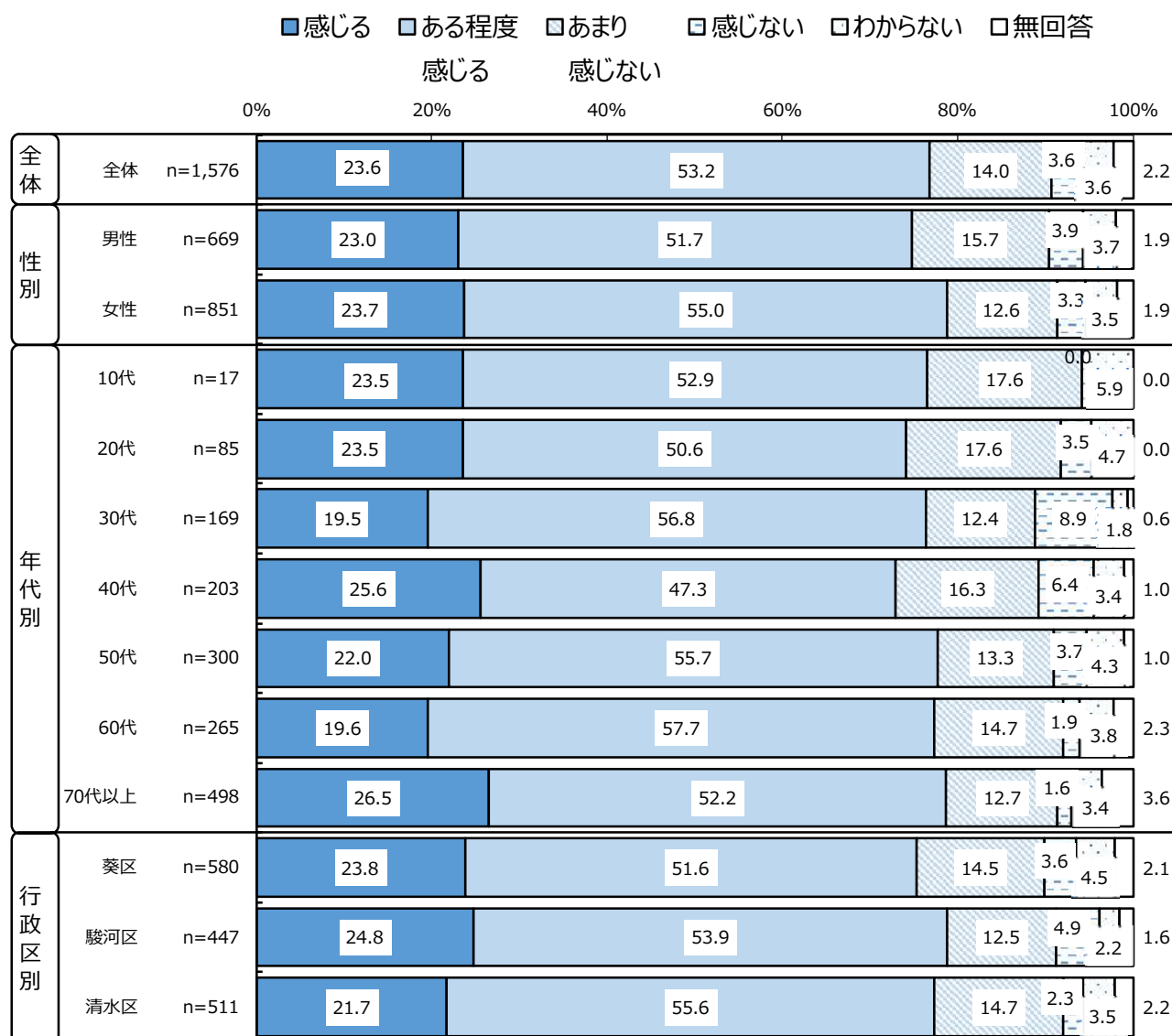
※令和4年度以降、この設問の回答に対して、「回答された理由」を記述する設問を追加しています。

問12 静岡市に誇りや愛着を感じますか。

(○は1つ)

静岡市に誇りや愛着を感じるかについては、「ある程度感じる」が53.2%と最も多く、次いで「感じる」23.6%、「あまり感じない」14.0%となっています。

また、『感じる』（「感じる」＋「ある程度感じる」）は76.8%、『感じない』（「あまり感じない」＋「感じない」）は17.6%となっています。



性別でみると、『感じる』は男性74.7%、女性78.7%となっています。『感じない』は男性19.6%、女性15.9%となっています。

年代別でみると、『感じる』は70代以上78.7%、50代77.7%、60代77.3%の順になっています。『感じない』は40代22.7%、30代21.3%、20代21.1%の順になっています。

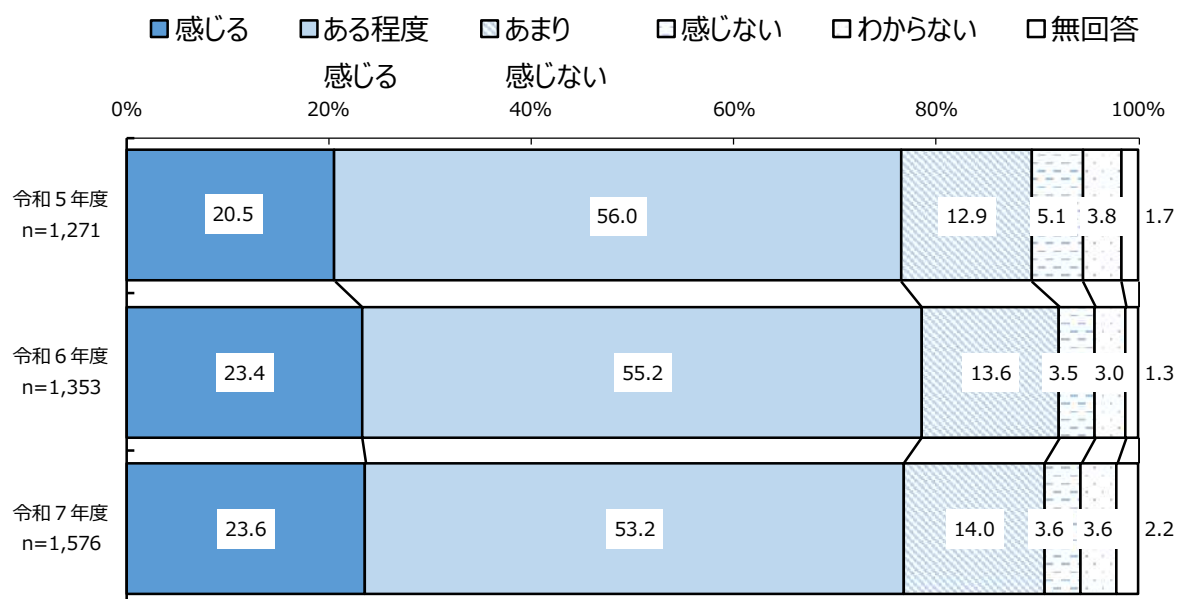
行政区別でみると、『感じる』は駿河区78.7%、清水区77.3%、葵区75.4%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

静岡市に誇りや愛着を感じるかについては、「感じる」は令和7年度23.6%となりました。令和6年度23.4%より0.2ポイント、令和5年度20.5%より3.1ポイント増加し、令和5年度以降で一番高い割合となりました。

『感じる』（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、令和7年度76.8%となりました。令和6年度78.6%より1.8ポイント減少し、令和5年度76.5%より0.3ポイント増加しています。

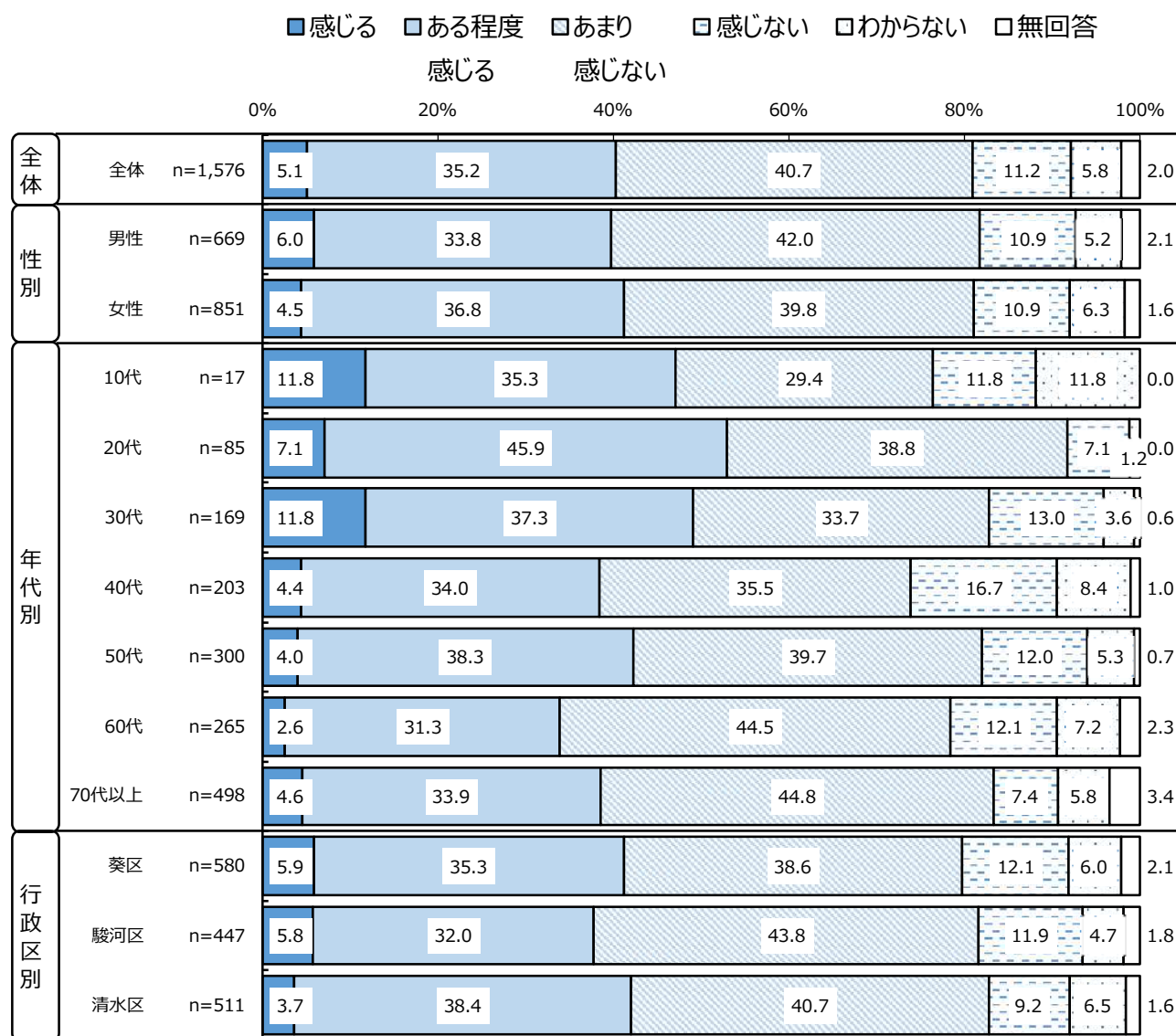
『感じない』（「あまり感じない」＋「感じない」）は、令和7年度17.6%となりました。令和6年度17.1%より0.5ポイント増加し、令和5年度18.0%より0.4ポイント減少しています。



問 13 静岡市は活気があり、人をひきつける魅力があるまちだと感じますか。
(○は1つ)

静岡市は活気があり、人をひきつける魅力があるまちだと感じるかについては、「あまり感じない」が40.7%と最も多く、次いで「ある程度感じる」35.2%、「感じる」11.2%となっています。

また、『感じる』(「感じる」+「ある程度感じる」)は40.3%で、『感じない』(「あまり感じない」+「感じない」)51.9%を下回っています。



性別でみると、『感じる』は男性39.8%、女性41.3%となっています。『感じない』は男性52.9%、女性50.7%となっています。

年代別でみると、『感じる』は20代53.0%、30代49.1%、10代47.1%の順になっています。『感じない』は60代56.6%、40代および70代以上52.2%、50代51.7%の順になっています。

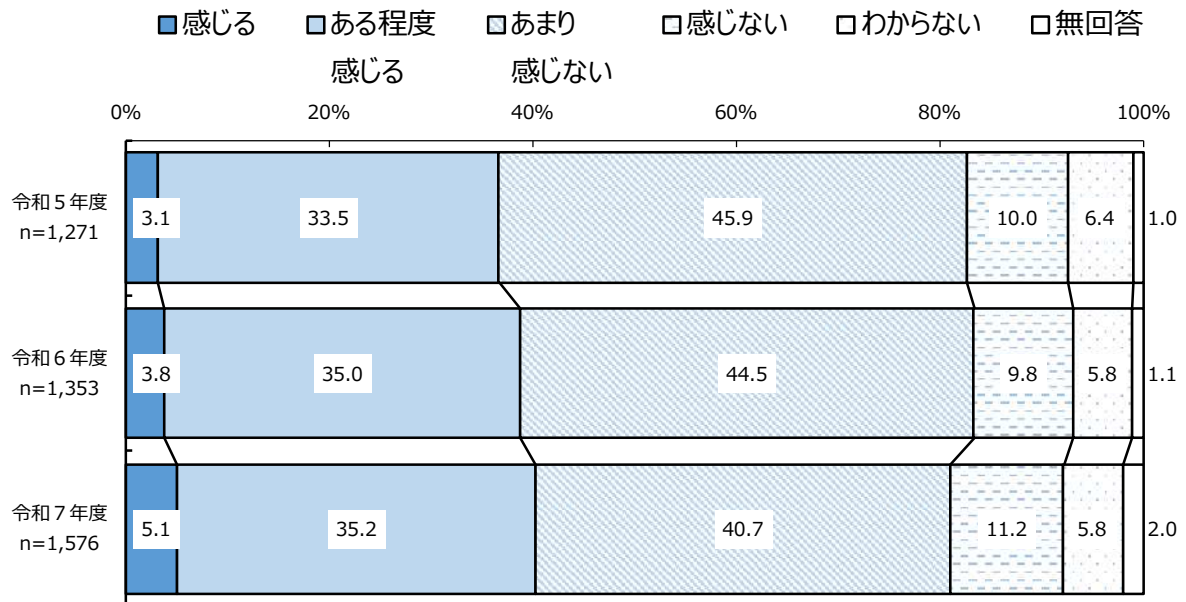
行政区別でみると、『感じる』は清水区42.1%、葵区41.2%、駿河区37.8%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

静岡市は活気があり、人をひきつける魅力があるまちだと感じるかについては、「感じる」は令和7年度5.1%となりました。令和6年度3.8%より1.3ポイント、令和5年度3.1%より2.0ポイント増加し、令和5年度以降で一番高い割合となりました。

『感じる』（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、令和7年度40.3%となりました。令和6年度38.8%より1.5ポイント、令和5年度36.6%より3.7ポイント増加し、令和5年度以降で一番高い割合となりました。

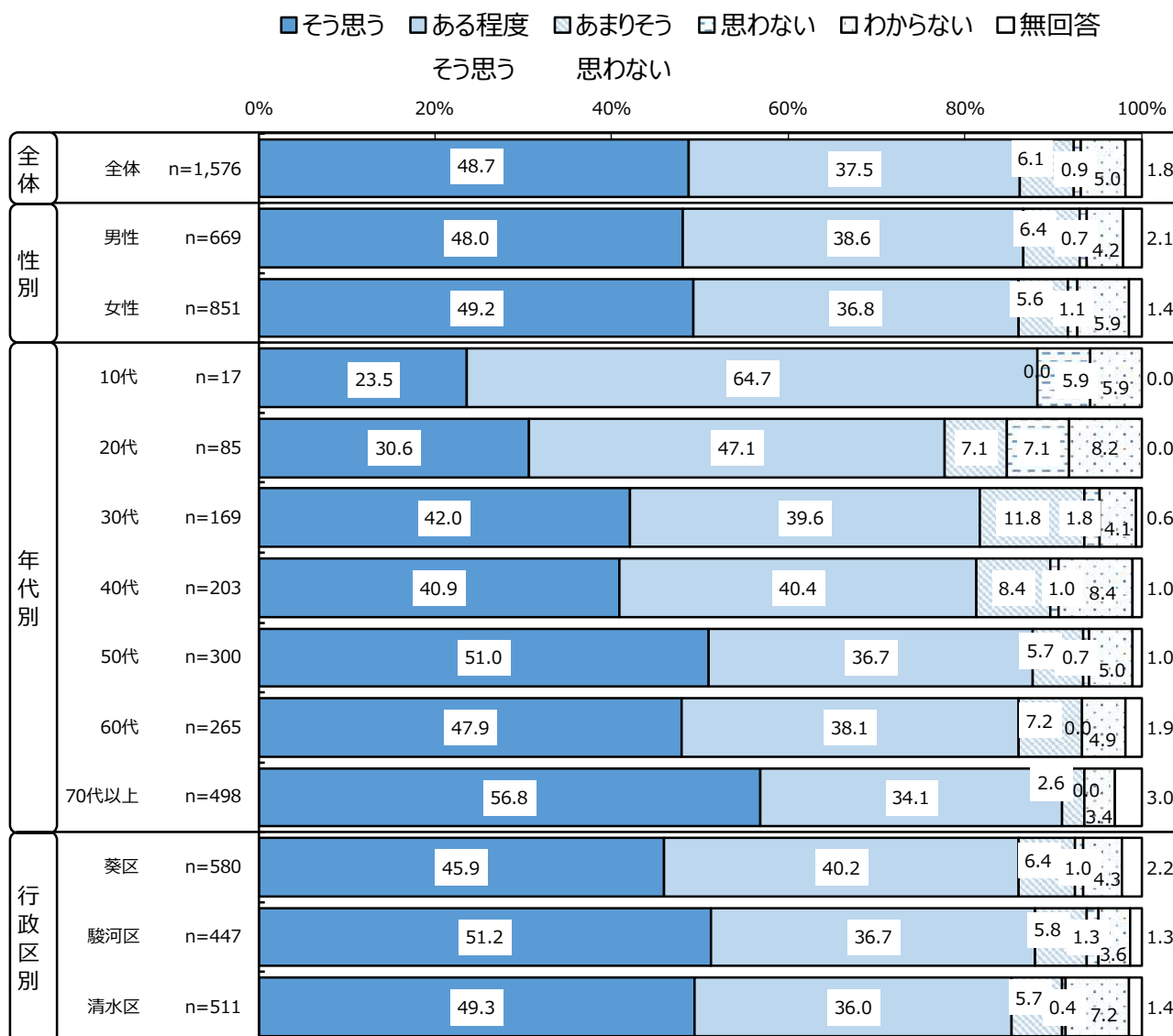
『感じない』（「あまり感じない」＋「感じない」）は、令和7年度51.9%となりました。令和6年度54.3%より2.4ポイント、令和5年度55.9%より4.0ポイント減少し、令和5年度以降で一番低い割合となりました。



問 14 これからも静岡市に住み続けたいと思いますか。
(○は1つ)

これからも静岡市に住み続けたいと思うかについては、「そう思う」が48.7%と最も多く、次いで「ある程度そう思う」37.5%、「あまりそう思わない」6.1%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は86.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）7.0%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性86.6%、女性86.0%となっています。『そう思わない』は男性7.1%、女性6.7%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は70代以上90.9%、10代88.2%、50代87.7%の順になっています。『そう思わない』は20代14.2%、30代13.6%、40代9.4%の順になっています。

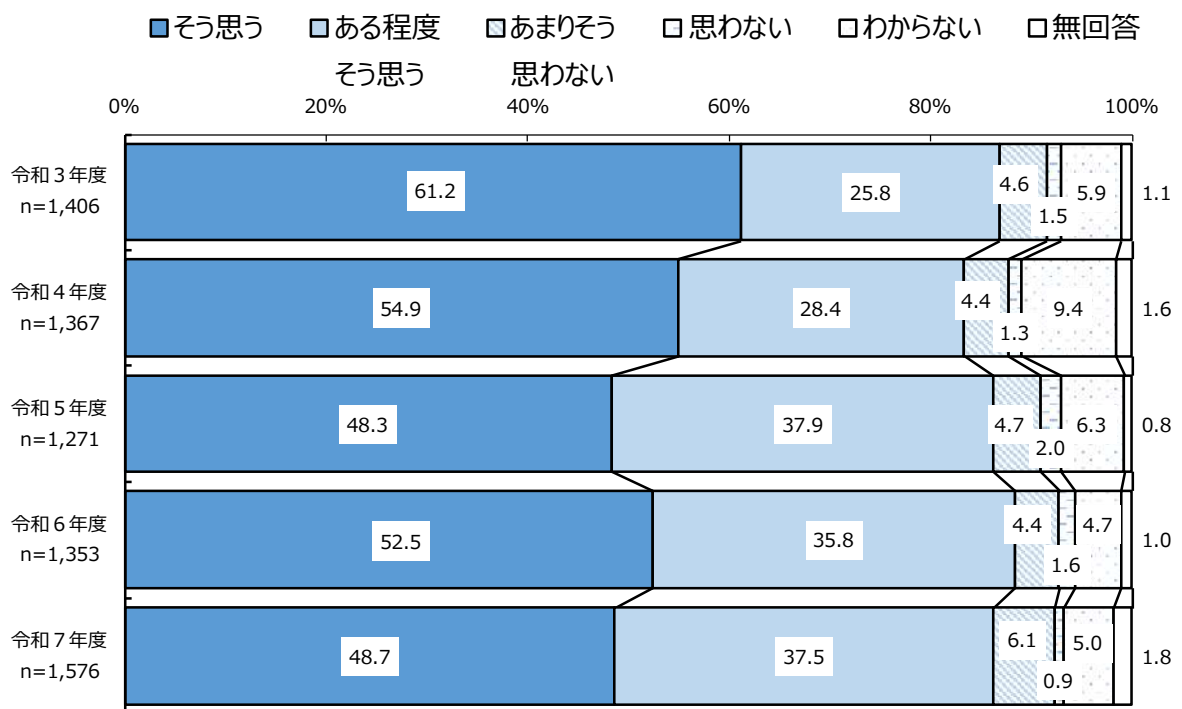
行政区別でみると、『そう思う』は駿河区87.9%、葵区86.1%、清水区85.3%の順になっています。

令和3年度～7年度の経年比較

これからも静岡市に住み続けたいと思うかについては、「そう思う」は令和7年度48.7%となりました。令和6年度52.5%より3.8ポイント減少し、令和3年度以降では令和5年度48.3%に次いで2番目に低くなりました。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は、令和7年度86.2%となりました。令和6年度88.3%より2.1ポイント減少しています。

『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は、令和7年度7.0%となりました。令和6年度6.0%より1.0ポイント増加しています。



※令和3年度、4年度の選択肢「4ほとんど、そうは思わない」は、令和5年度、6年度の選択肢「4思わない」として表しています。